

台東区

次世代育成支援に関するニーズ調査

報告書

【速報版】

平成31年2月

目 次

．調査の概要

1．調査の目的	1
2．調査対象及び調査方法	1
3．調査期間	2
4．回収結果	2

．調査結果

1．台東区の子育て環境	3
2．就学前児童保護者調査の結果	
子育て（教育を含む）を主に行っている人	4
子供の生活環境	5
子育ての悩み・気になること	8
育児休業の延長	9
平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況	10
子供が病気の時の対応	17
一時預かり等の利用	18
小学校就学後に放課後過ごさせたい場所	19
区の子育て支援で特に力を入れてほしいもの	21
3．小学生調査の結果	
将来について	22
普段の生活	22
学校・勉強のこと	23
4．小学生保護者調査の結果	
こどもクラブ・放課後子供教室・児童館ランドセル来館の利用希望	25
区の子育て支援で特に力を入れてほしいもの	29
5．中学生・高校生相当年齢者調査の結果	
授業のあとに行きたい場所	30
携帯電話、インターネット等	31
6．若者（18歳～39歳）調査の結果	
若者の悩み相談について	34
ひきこもりについて	35
7．子供の貧困に関連する調査の結果	
家族での介護の状況	40
世帯の収入状況	41
家庭の生活状況	42

．調査の概要

1．調査の目的

平成31年度で終了となる「台東区次世代育成支援計画」を改定し、次期計画を策定するにあたり、子育て支援事業の利用意向や子育て環境の現状等を把握するため、子育て世帯を中心とした区民を対象にニーズ調査を実施する。

2．調査対象及び調査方法

(1) 就学前児童保護者 ... 2,168人

区内在住の平成24年4月2日から平成30年8月31日までに生まれた児童の保護者に郵送配布・郵送回収... 1,205人

区内の保育園・幼稚園・認定こども園に通う3歳児から5歳児の保護者に通園施設を通して配布・回収... 963人

(2) 小学生 ... 304人

区立小学校に通う小学5年生に学校を通して配布・回収

(3) 小学生保護者 ... 1,940人

区立小学校に通う小学1年生から6年生の保護者に学校を通して配布・回収

(4) 中学生 ... 956人

区内在住の平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた児童に郵送配布・郵送回収... 270人

区立中学校に通う中学1年生から3年生に学校を通して配布・回収... 686人

(5) 中学生保護者 ... 956人

区内在住の平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた児童の保護者に郵送配布・郵送回収... 270人

区立中学校に通う中学1年生から3年生の保護者に学校を通して配布・回収... 686人

(6) 高校生相当年齢者 ... 900人

区内在住の平成10年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた児童に郵送配布・郵送回収

(7) 高校生相当年齢者保護者 ... 900人

区内在住の平成10年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた児童の保護者に郵送配布・郵送回収

(8) 若者(18歳~39歳) ... 1,000人

区内在住の昭和53年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方に郵送配布・郵送回収

3. 調査期間

平成30年10月15日～平成30年10月31日

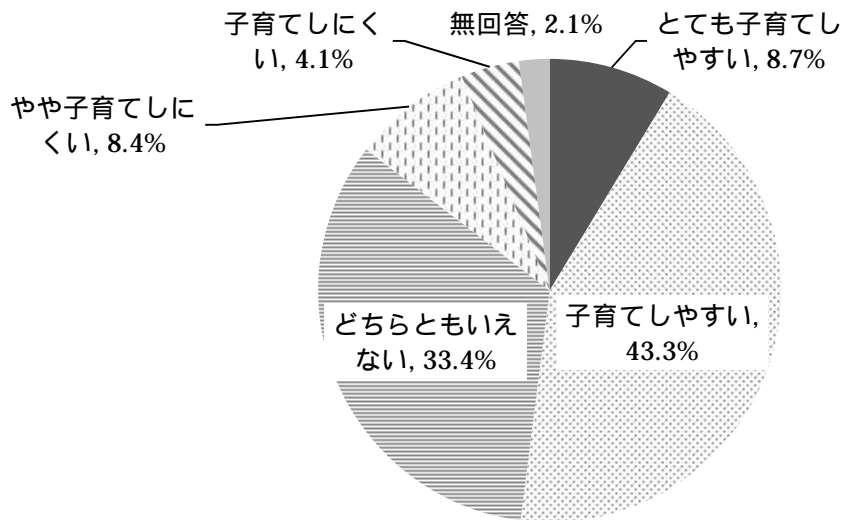
4. 回収結果

調査対象	配布数	回収数	回収率	前回調査回収率
就学前児童保護者	2,168	1,429	65.9%	73.2%
小学生	304	240	78.9%	
小学生保護者	1,940	1,471	75.8%	76.5%
中学生	956	527	55.1%	72.5%
中学生保護者	956	543	56.8%	65.6%
高校生相当年齢者	900	263	29.2%	40.3%
高校生相当年齢者 保護者	900	329	36.6%	44.7%
若者	1,000	259	25.9%	

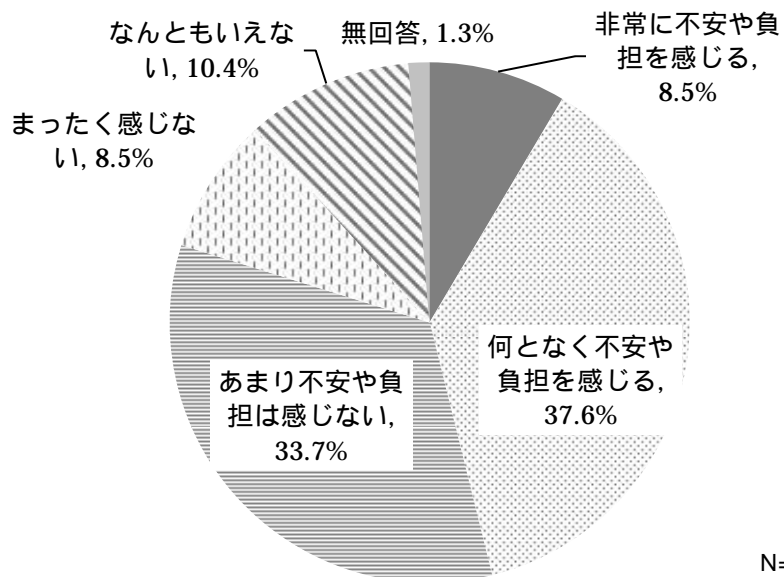
調査結果

1. 台東区の子育て環境

(1) 台東区では、子育ての環境整備や様々な支援を行っています。あなたは台東区で子育てをしていて、子育てをしやすいと感じますか。



(2) 子育てに関して不安や負担感を感じていますか。

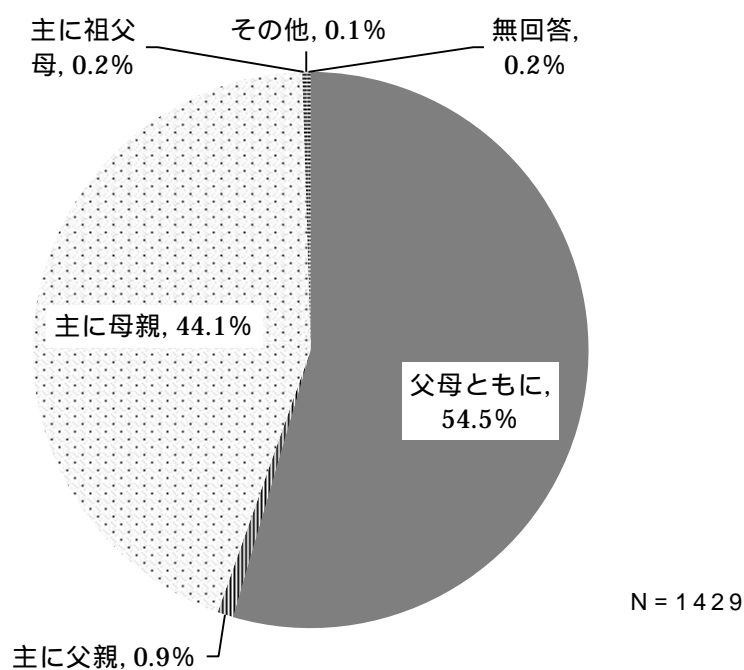


2 . 就学前児童保護者調査の結果

子育て（教育を含む）を主に行っている人

(3) あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。
続柄はお子さんからみた関係です。

子育てを主に行っている人は「父母ともに」が 54.5%と最も多く、次いで「主に母親」が 44.1%の順となっています。

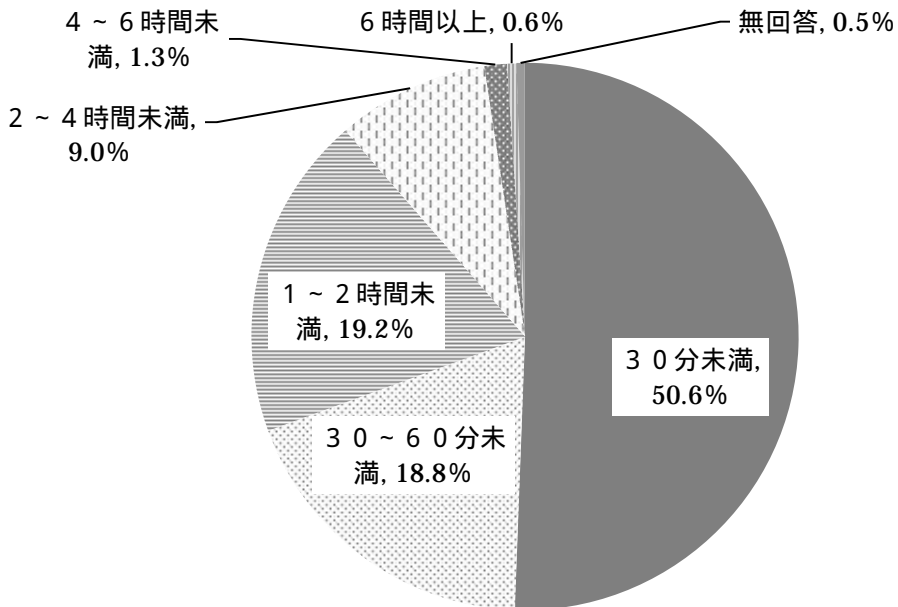


子供の生活環境

(4) あて名のお子さんが自宅の外(公園等の屋外)で遊んで過ごす時間はどのくらいですか。

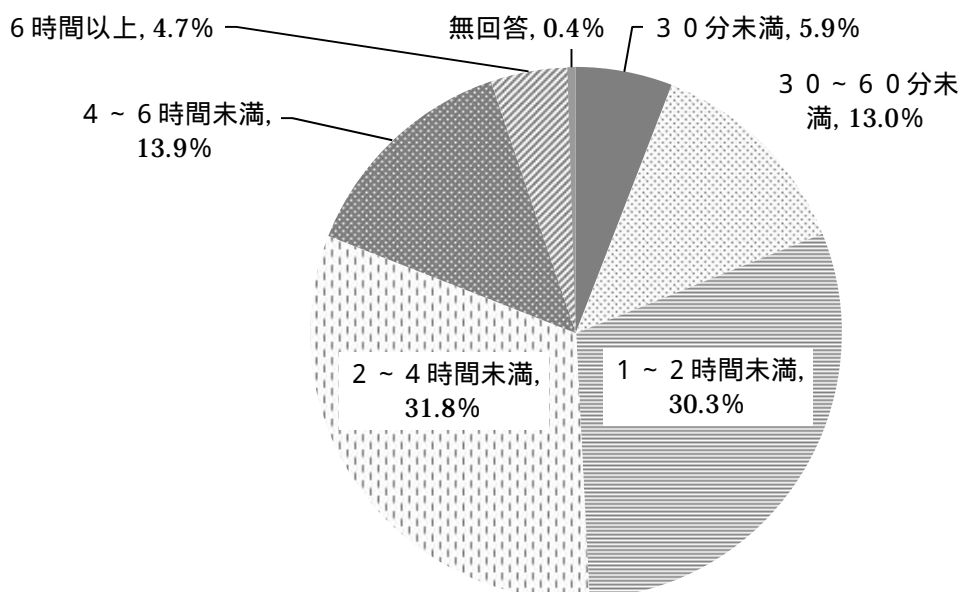
平日は「30分未満」が最も多く50.6%となっており、休日は「2～4時間未満」が31.8%、次いで「1～2時間未満」が30.3%となっています。

平日(1日あたり)



N = 1429

休日(1日あたり)

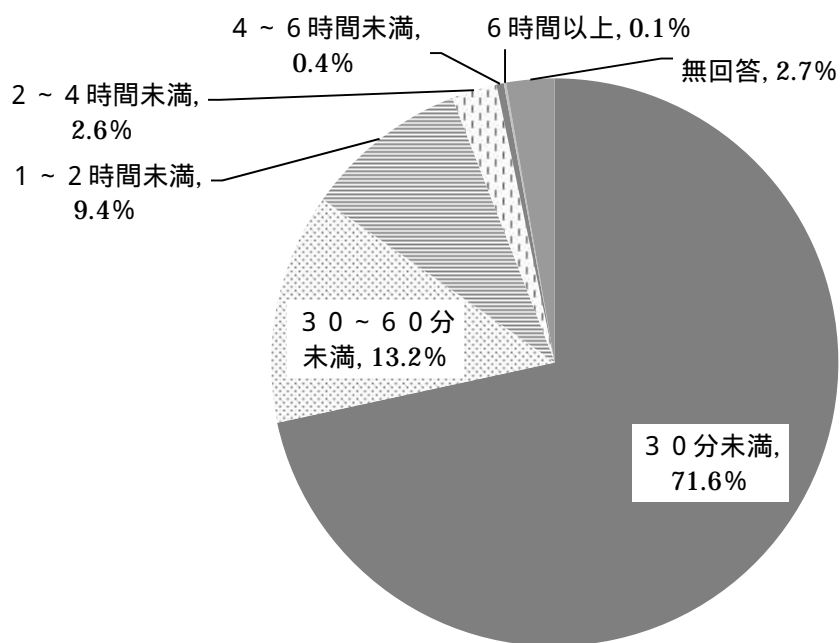


N = 1429

(5) あて名のお子さんが自宅でスマートフォンのゲームやテレビゲーム等で遊んで過ごす時間はどのくらいですか。

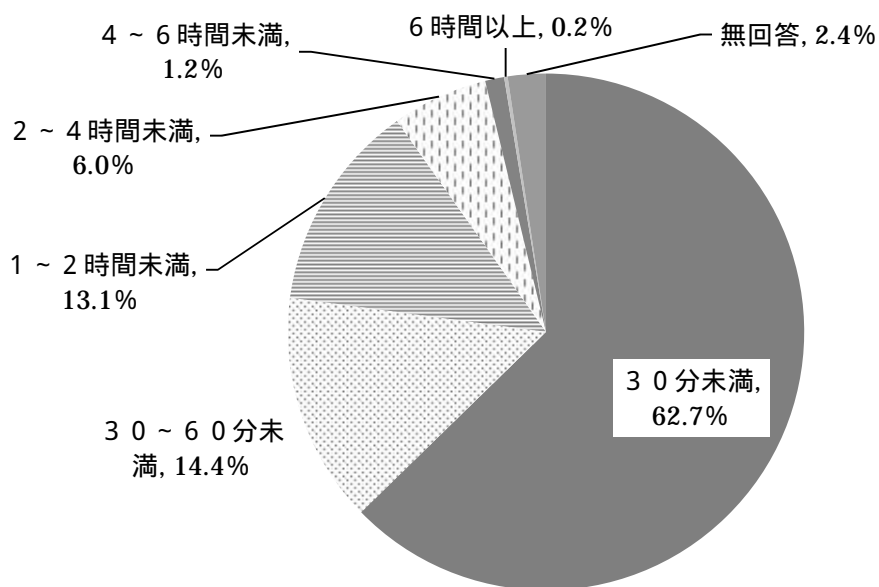
「30分未満」がそれぞれ最も多く、平日は71.6%、休日は62.7%となっています。

平日（1日あたり）



N = 1429

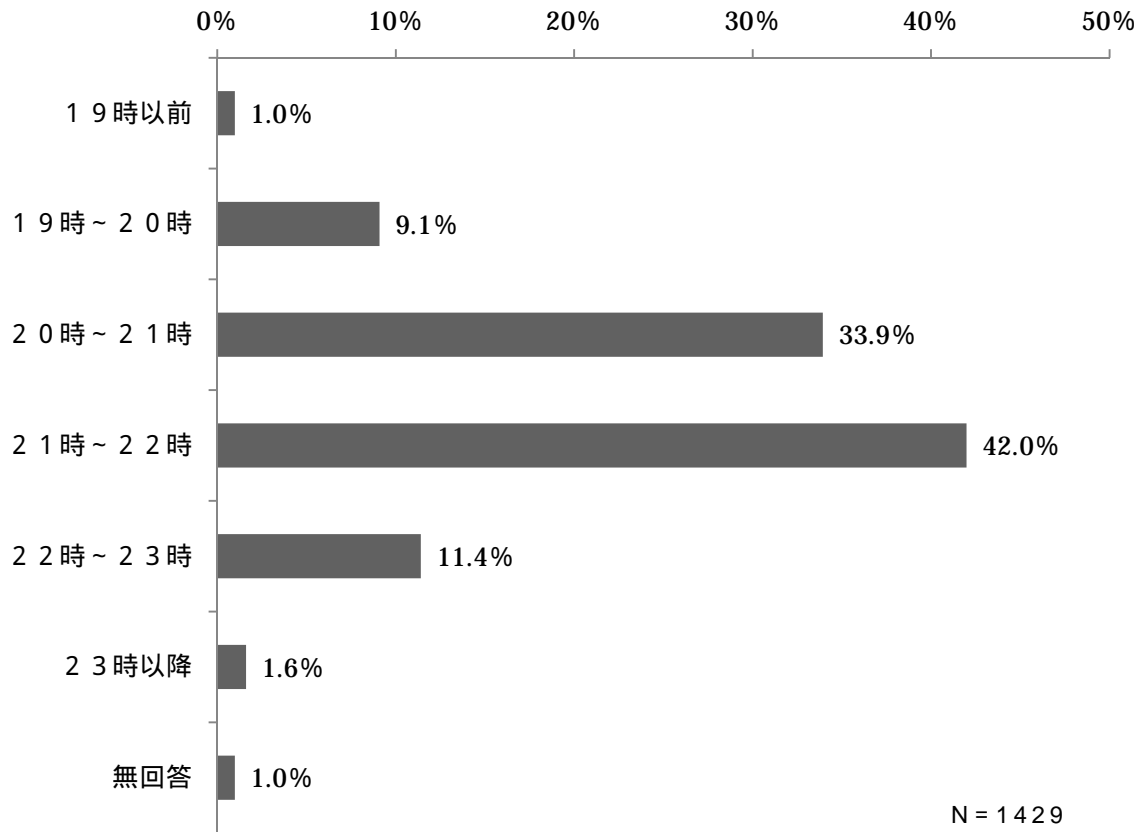
休日（1日あたり）



N = 1429

(6) あて名のお子さんの就寝時間は何時くらいですか。

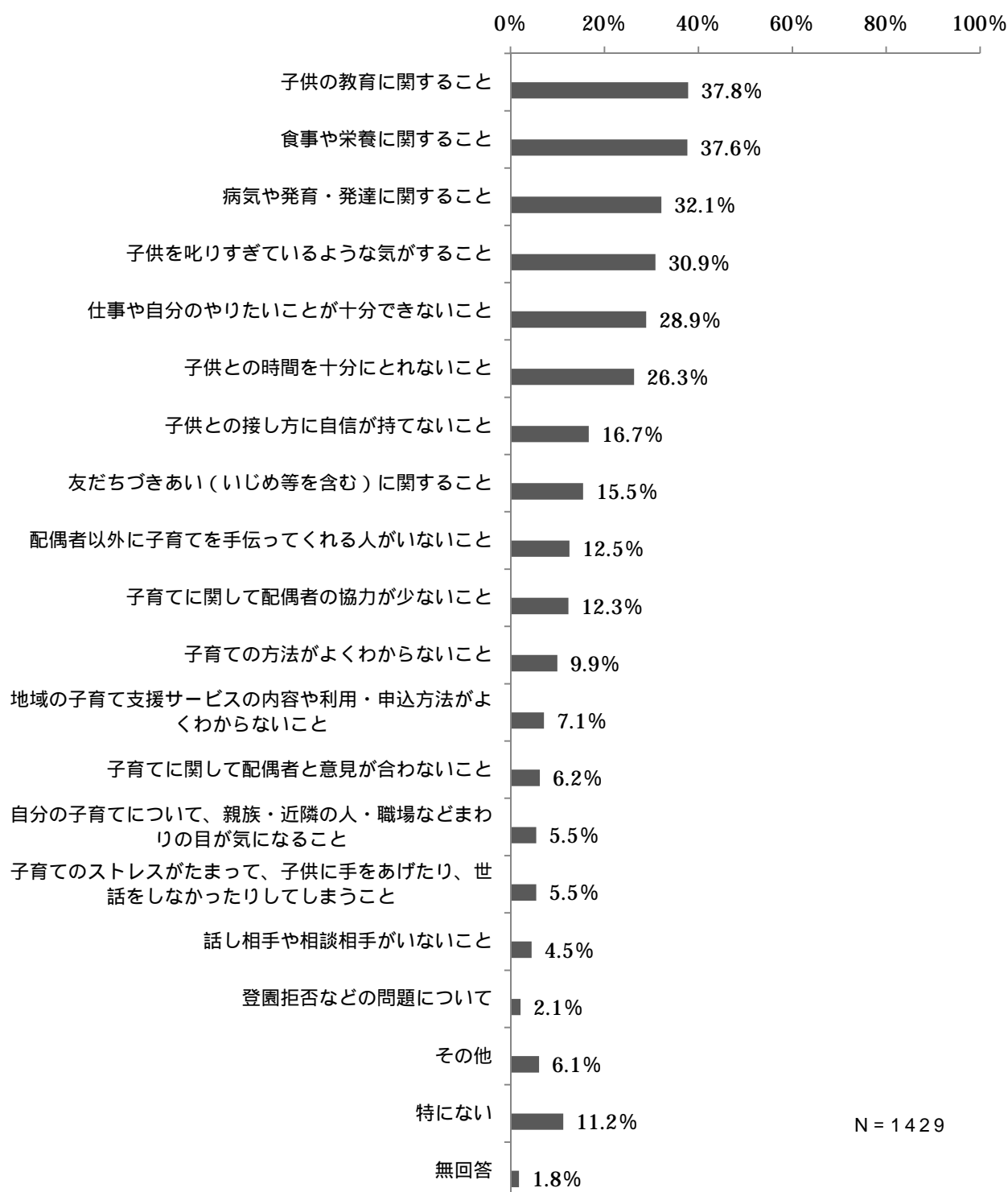
お子さんの就寝時間は「21時～22時」が最も多く、42.0%となっています。



子育ての悩み・気になること

(7) 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(複数回答)

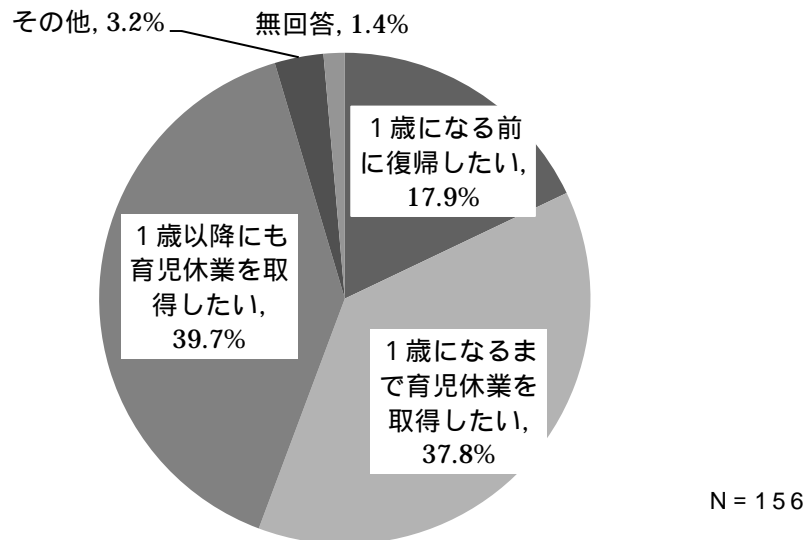
子育ての悩みや気になることについては「子供の教育に関すること」が37.8%と最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が37.6%、「病気や発育・発達に関すること」が32.1%となっています。



育児休業の延長

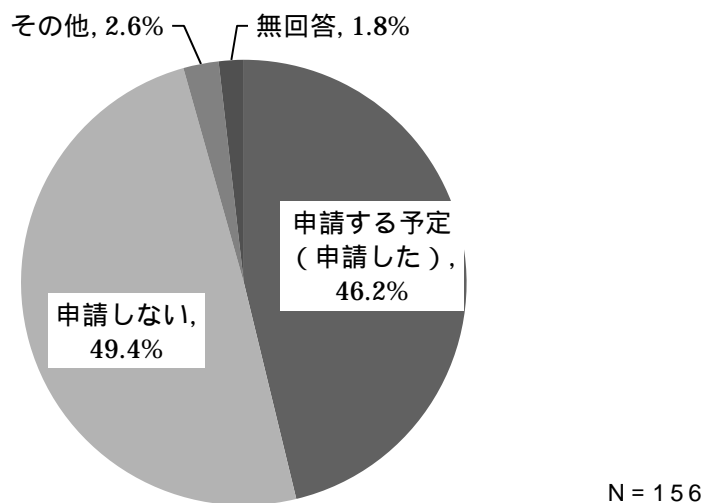
(8) あて名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる環境があった場合、職場復帰をどう考えますか。

「1歳以降にも育児休業を取得したい」が39.7%と最も多く、次いで「1歳になるまで育児休業を取得したい」が37.8%となっています。



(9) 育児休業を延長するため、不承諾を前提に保育所の申請をする予定(したこと)はありますか。

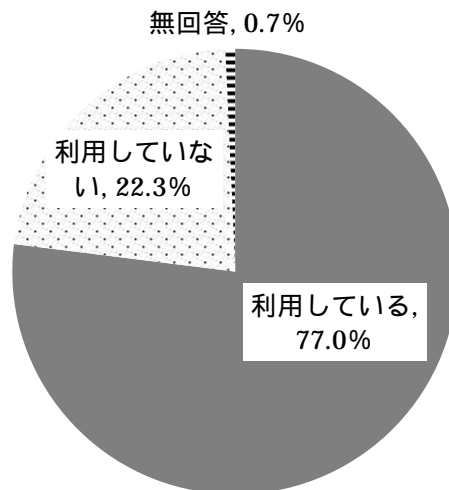
「申請する予定(申請した)」が46.2%、「申請しない」が49.4%となっています。



平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況
現在の利用状況

(10) あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

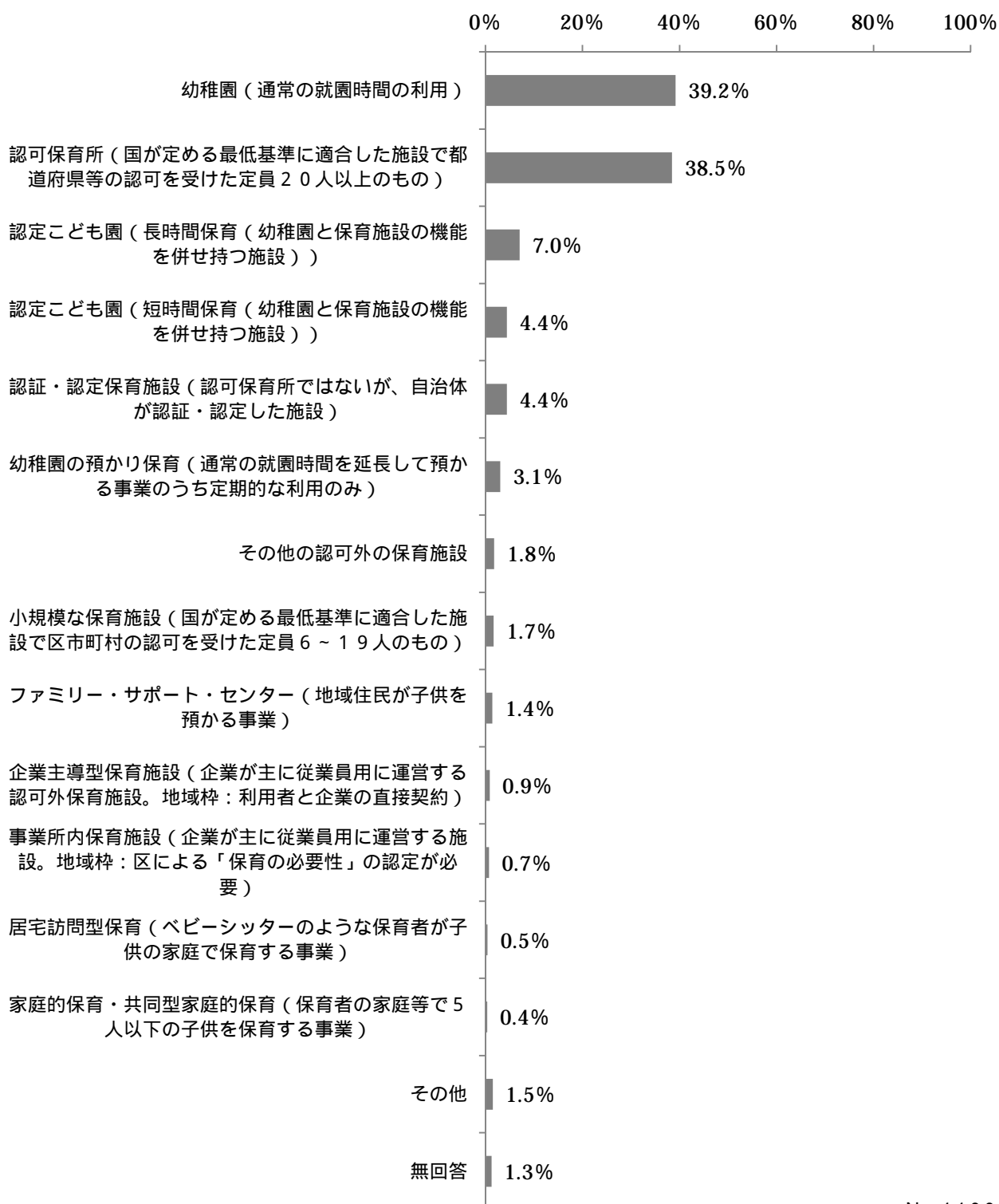
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は「利用している」が77.0%となっています。



N = 1429

(11) (10)で「利用している」を選択した方にお伺いします。
 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
 年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(複数回答)

平日に定期的に利用している事業は「幼稚園」が39.2%、「認可保育所」が38.5%、「認定こども園(長時間保育)」が7.0%となっています。

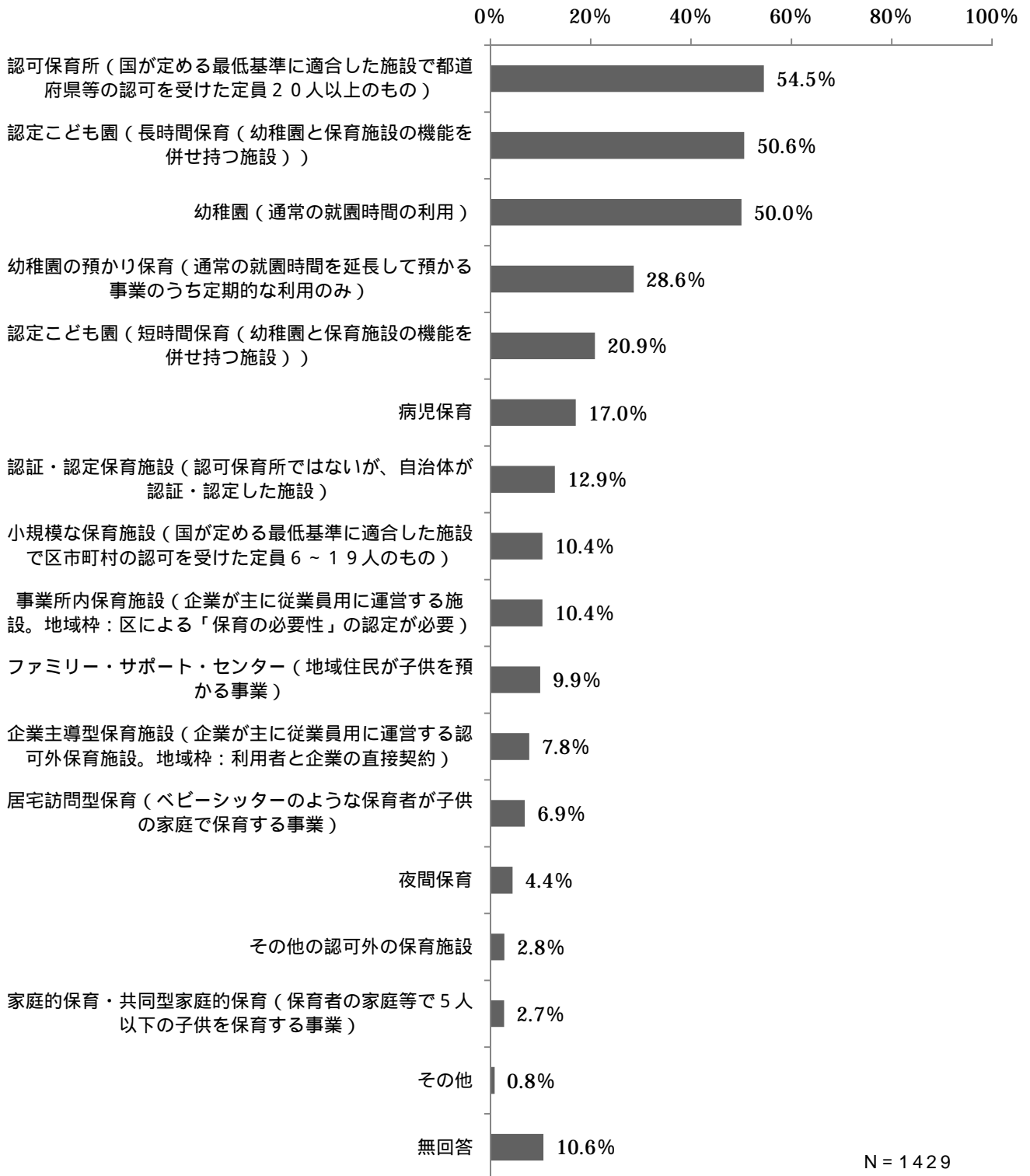


N = 1100

定期的に利用したいと考える事業

(12) 現在、利用している、利用していないにかかわらず、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業は何ですか。(複数回答かつ利用したい順番を回答)

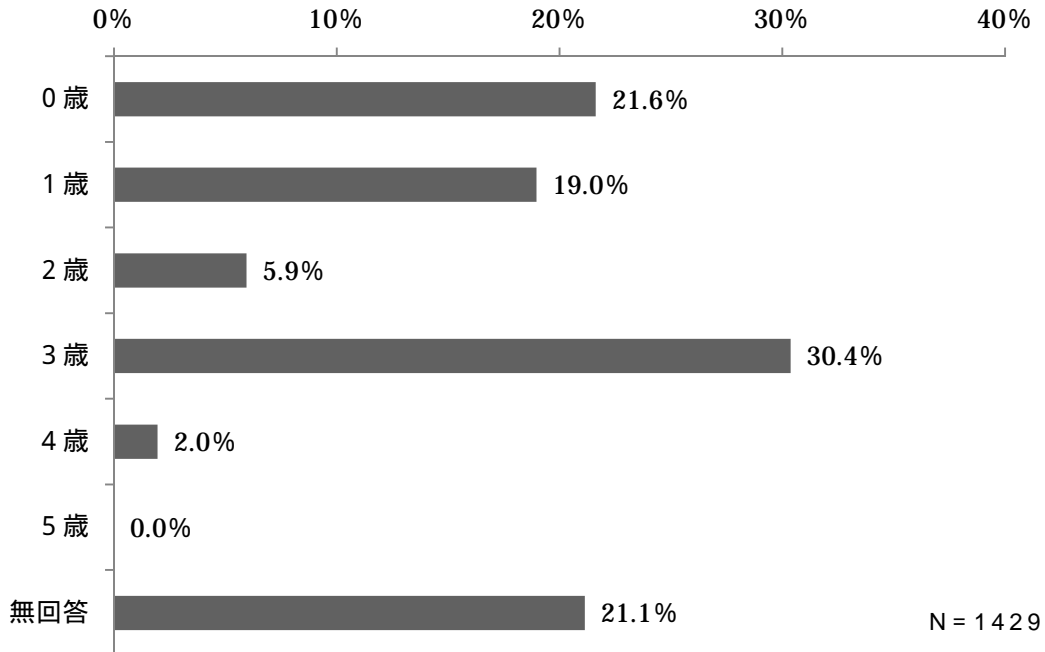
平日に定期的に利用したいと考える事業は「認可保育所」が54.5%と最も多く、次いで「認定こども園(長時間保育)」が50.6%、「幼稚園」が50.0%、「幼稚園の預かり保育」が28.6%の順になっています。



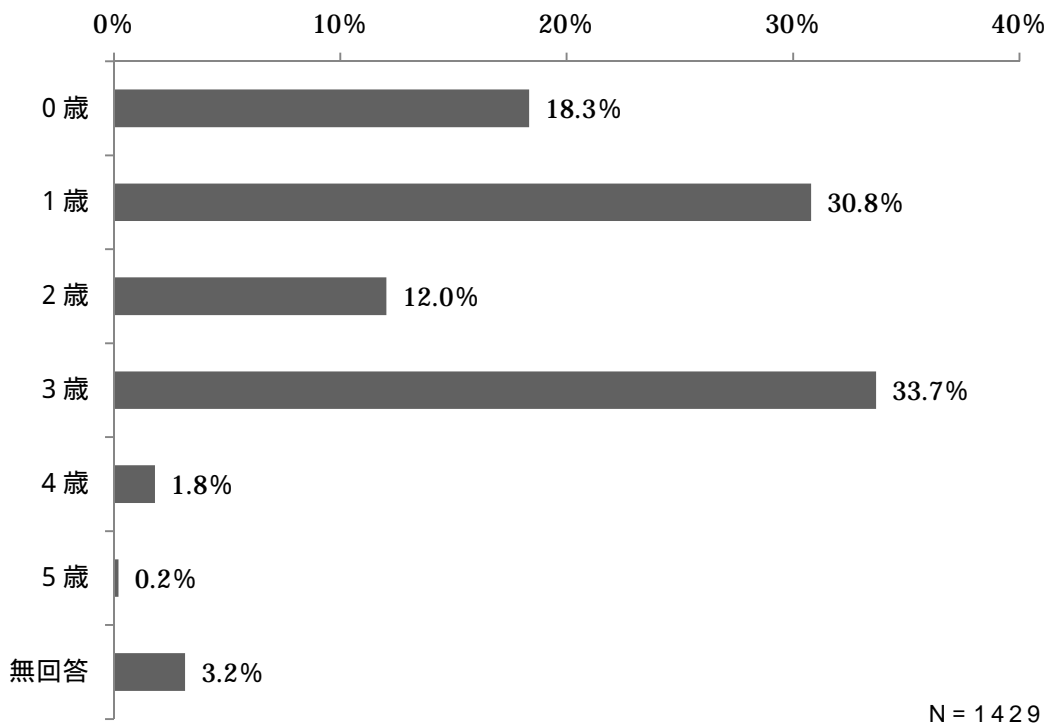
定期的な教育・保育事業の実際の利用開始時期と希望開始時期

(13) あて名のお子さんは、定期的な教育・保育の事業を何歳から利用したい(したかった)ですか。実際の利用開始年齢、希望の(だった)利用開始年齢をお答えください。

実際の利用開始年齢

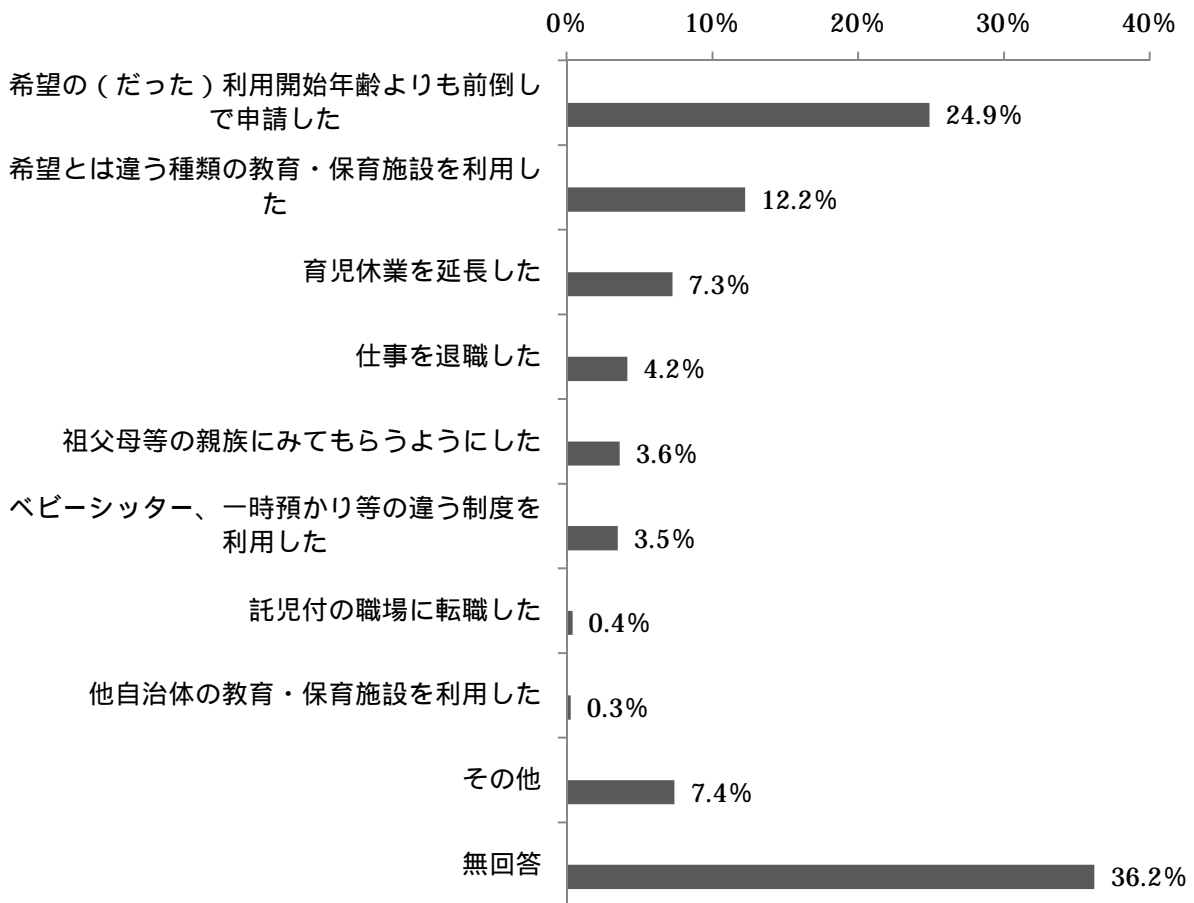


希望の(だった)利用開始年齢



(14) 実際の利用開始年齢と希望の(だった)利用開始年齢が異なっている場合、どのような対応をとりましたか。

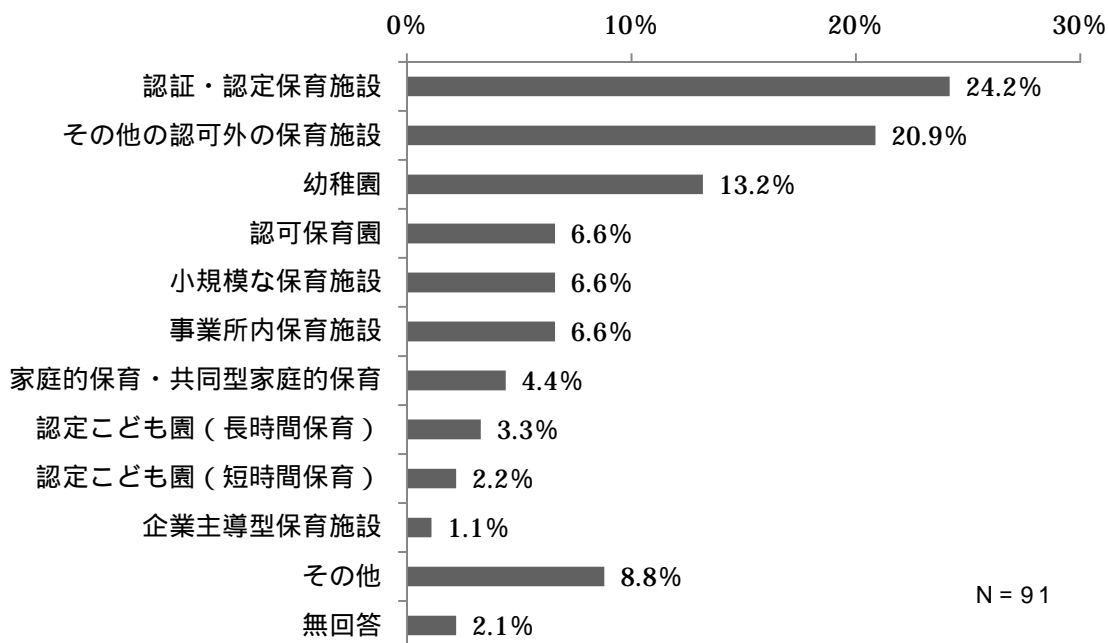
「希望の(だった)利用開始年齢よりも前倒しで申請した」が24.9%となっており、次いで「希望とは違う種類の教育・保育施設を利用した」が12.2%となっています。



N = 743

(15) (14)で「希望とは違う種類の教育・保育施設を利用した」を選択した方にお伺いします。どの教育・保育事業に預けましたか。

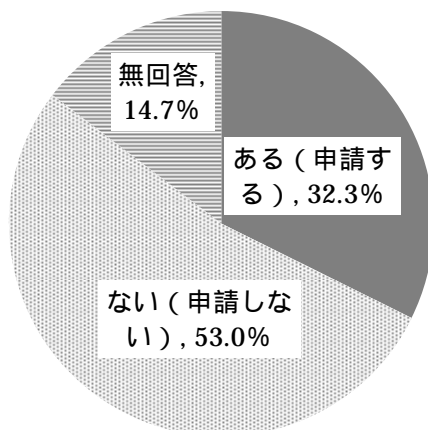
「認証・認定保育施設」が最も多く24.2%となっており、次いで「その他の認可外の保育施設」が20.9%となっています。



1歳児から利用希望だが、やむなく0歳児で保育園入園申請した経験(する予定)

(16) 1歳からの保育所利用を希望していたが、待機児童を避けるため、やむなく0歳児の枠で入園申請を行った経験はありますか。また、申請したいと考えますか。

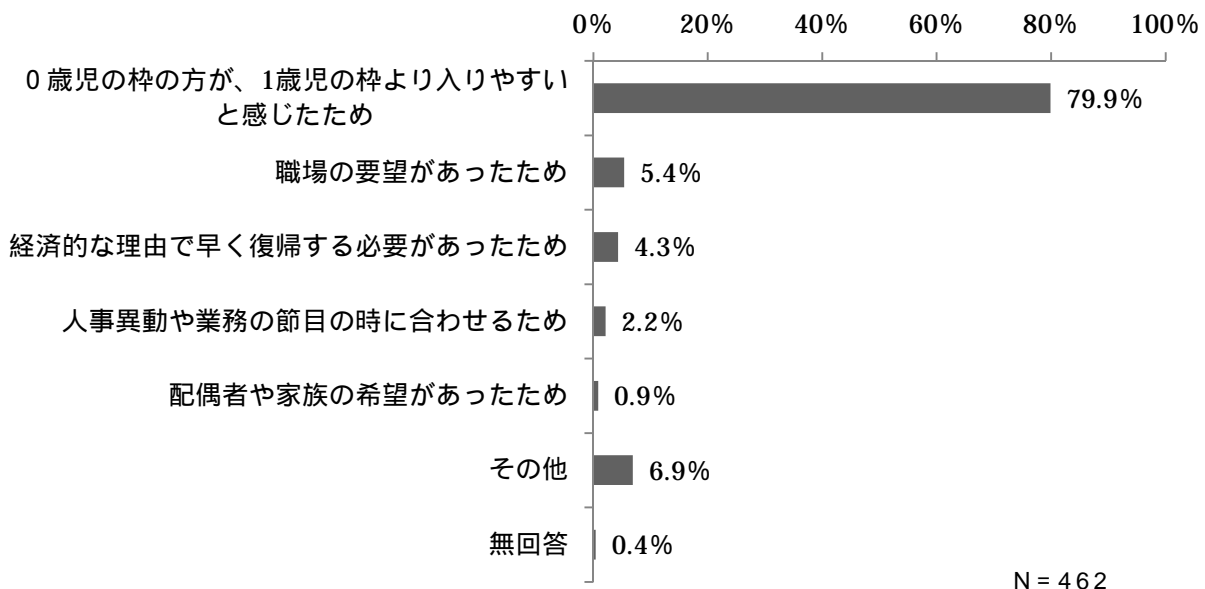
1歳からの保育所利用を希望していたが、待機児童を避けるため、やむなく0歳児の枠で入園申請を行った経験について、「ある(申請する)」が32.3%、「ない(申請しない)」が53.0%となっています。



N = 1429

(17) 1歳からの保育所利用を希望していたが、待機児童を避けるため、やむなく0歳児の枠で入園申請をした最も近い理由は何ですか。

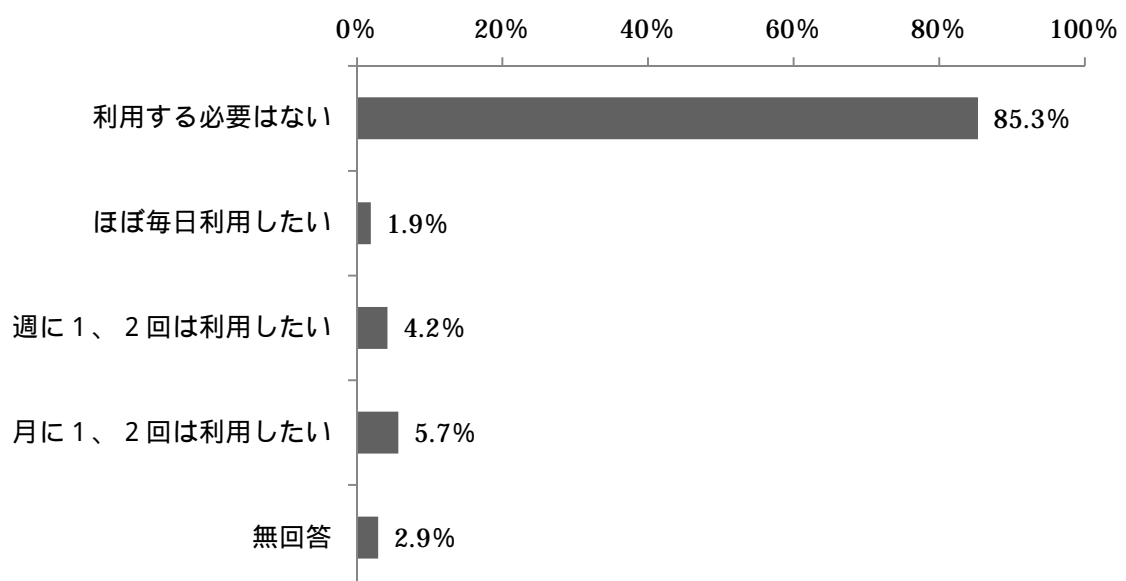
「0歳児の枠の方が、1歳児の枠より入りやすいと感じたため」が最も多く、79.9%となっています。



平日夜間の定期的な教育・保育の利用希望

(18) 平日の夜間に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

「利用する必要はない」が最も多く、85.3%となっています。

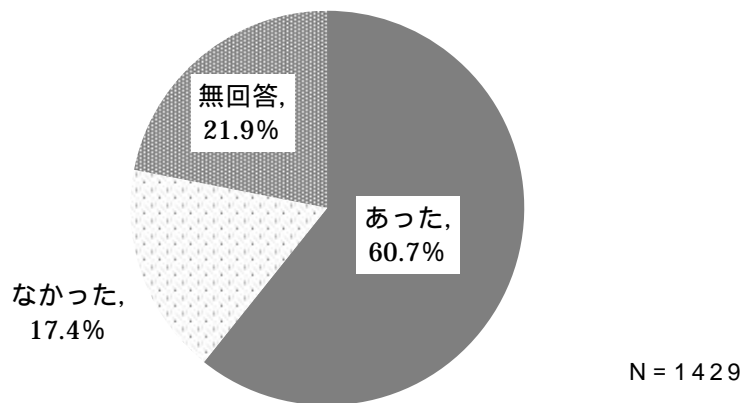


子供が病気の時の対応

子供が病気で通常の教育・保育事業が利用できなかった経験の有無

(19) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方((11)で「利用している」と回答された方)にうかがいます。
この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで通常の教育・保育が利用できなかったことはありますか。

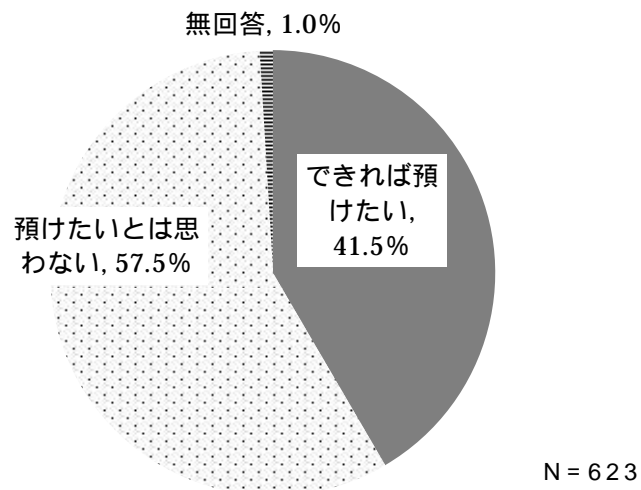
お子さんが病気やけがで通常の教育・保育が利用できなかった有無については、「あった」が60.7%となっています。



病児・病後児のための保育施設等の利用意向

(20) 「父親が休んだ」または「母親が休んだ」と回答された方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

病児・病後児のための保育施設等の利用については、「預けたいとは思わない」が57.5%となっています。

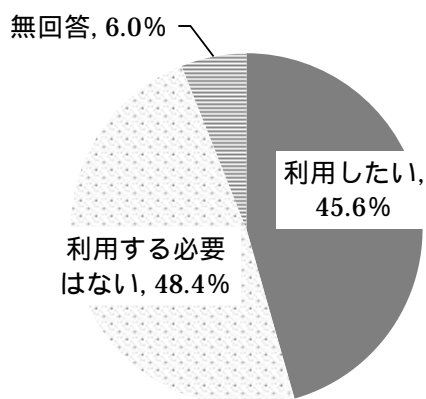


一時預かり等の利用

一時預かり等を利用する必要性

(21) あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり事業を利用する必要があると思いますか。

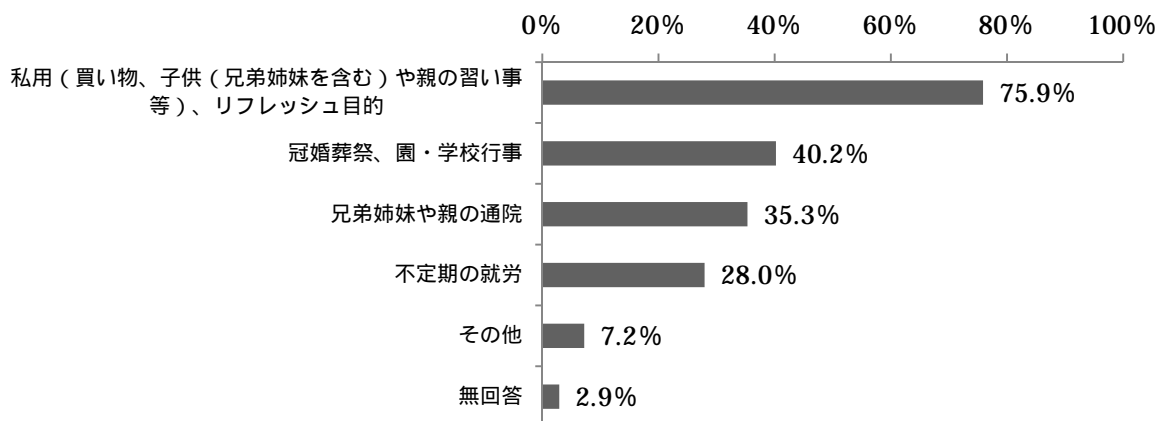
一時預かり事業の利用については、「利用したい」が 45.6%、「利用する必要はない」が 48.4%となっています。



N = 1429

「利用したい」人の利用事由別内訳（複数回答）

「利用したい」と回答した人の目的としては、「私用、リフレッシュ目的」が 75.9%となっています。



N = 651

(日)	
年間利用希望平均日数	27.5
(内 訳)	
私用（買い物、子供や親の習い事等）、リフレッシュ	14.2
冠婚葬祭、園・学校行事	5.8
兄弟姉妹や親の通院	8.4
不定期の就労	30.8
その他	15.1

N = 651

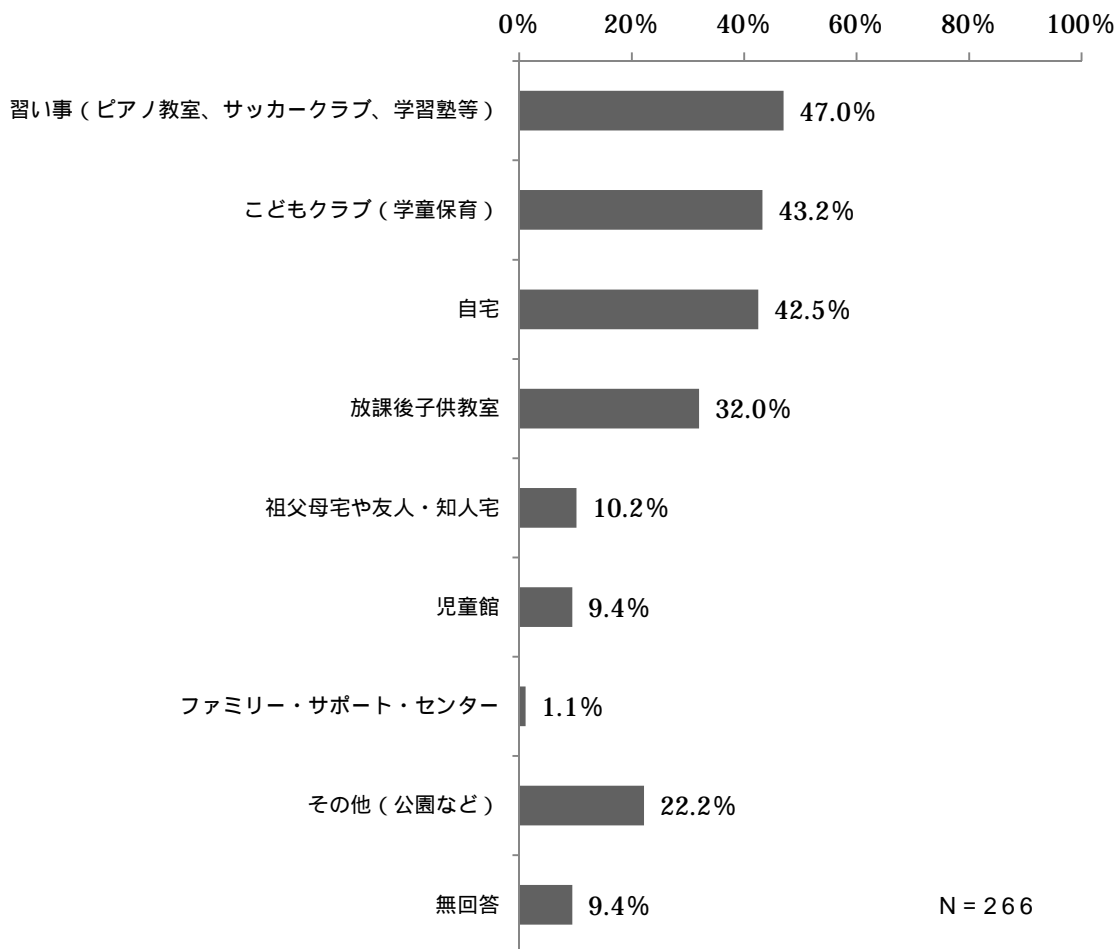
小学校就学後に放課後過ごさせたい場所

平成25年4月2日以前に生まれた人(5歳児)のみ

小学校低学年時に放課後過ごさせたい場所

(22) あて名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
(複数回答)

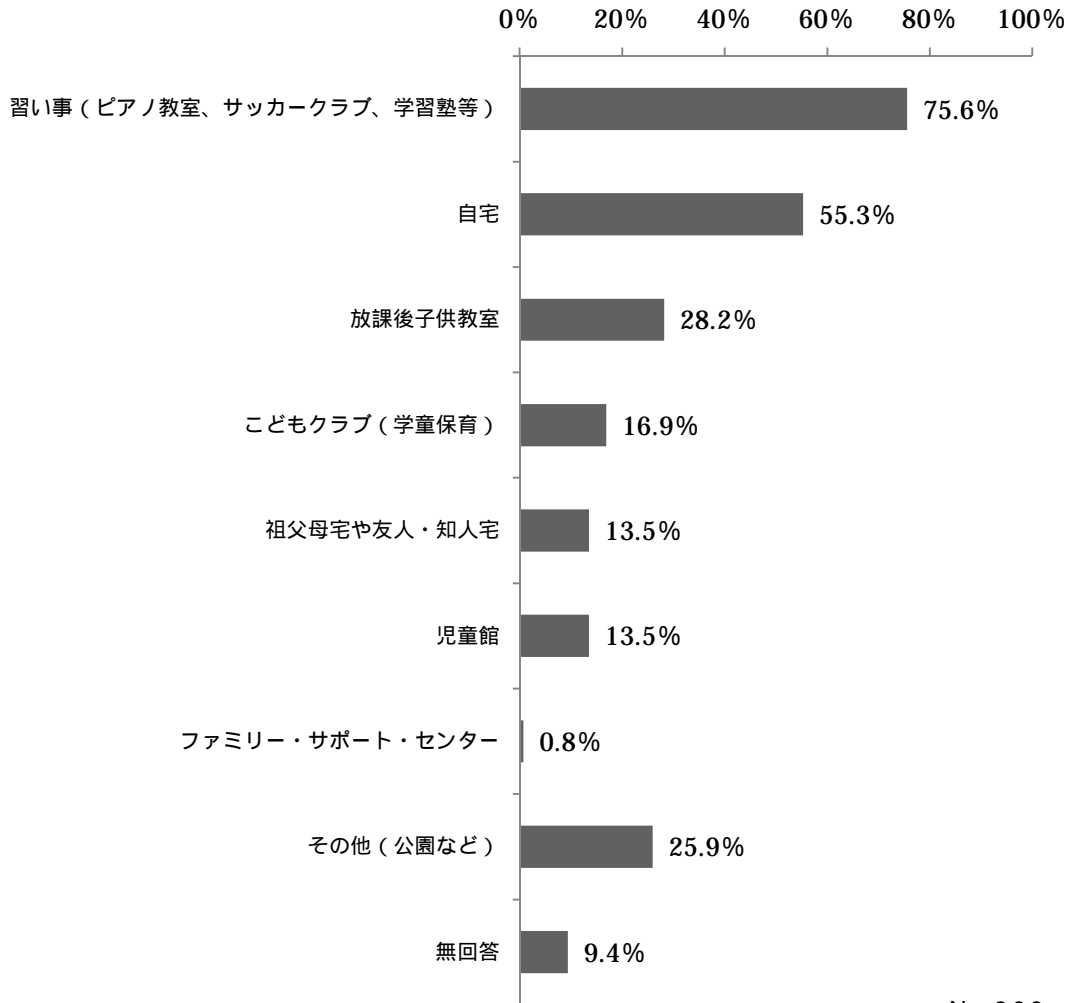
小学校低学年において放課後の時間で過ごさせたい場所については「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)」が47.0%と最も多く、次いで「こどもクラブ(学童保育)」が43.2%、「自宅」が42.5%となっています。



小学校高学年時に放課後過ごさせたい場所

(23) あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
(複数回答)

小学校高学年において放課後の時間で過ごさせたい場所については、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)」が75.6%と最も多く、次いで「自宅」が55.3%となっています。

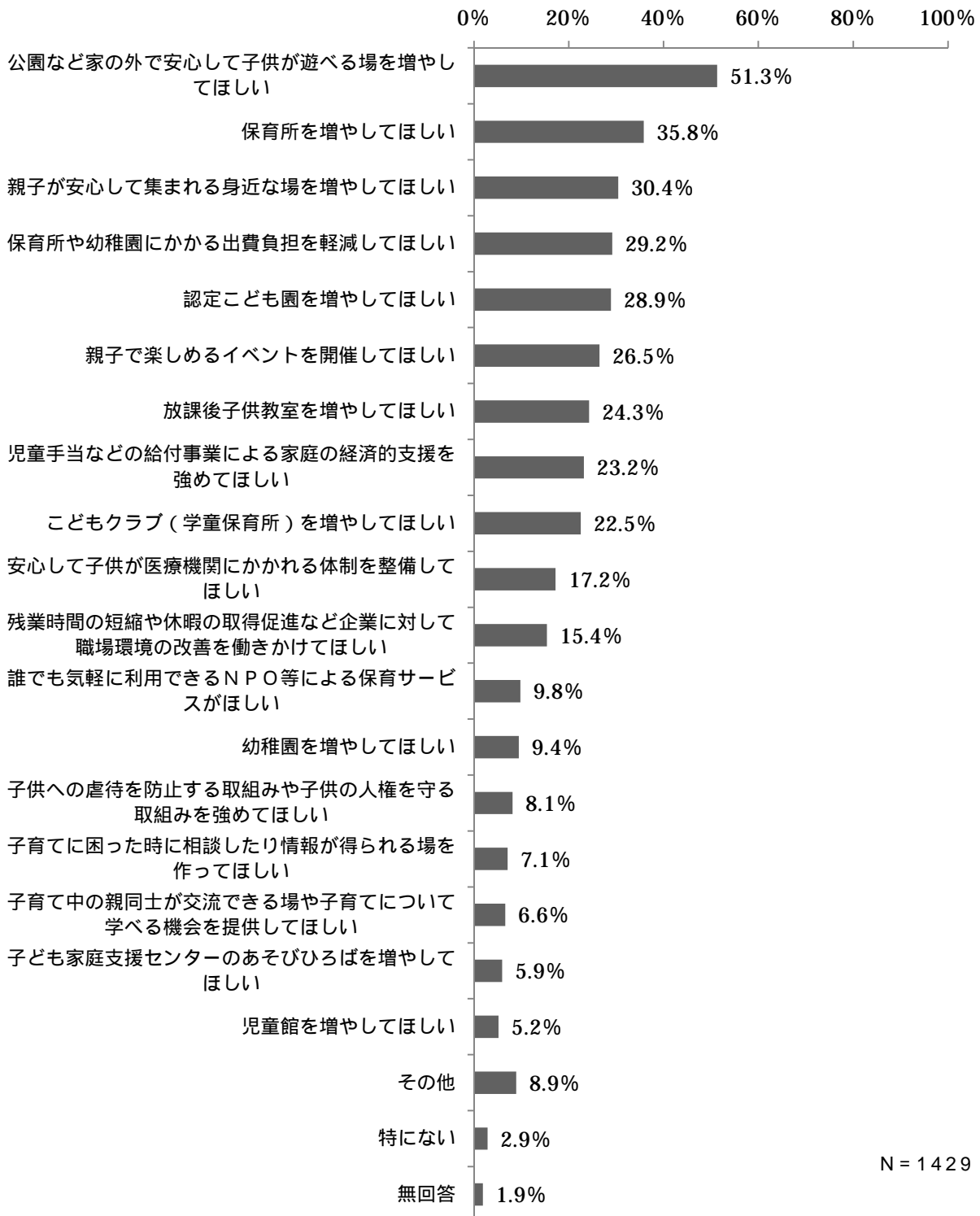


N = 266

区の子育て支援で特に力を入れてほしいもの

(24) 区の子育て支援として、次の項目の中から、あなたが特に力を入れてほしいものは何ですか。(複数回答)

区の子育て支援として特に力を入れてほしいものについては、「公園など家の外で安心して子供が遊べる場を増やしてほしい」が51.3%となっています。

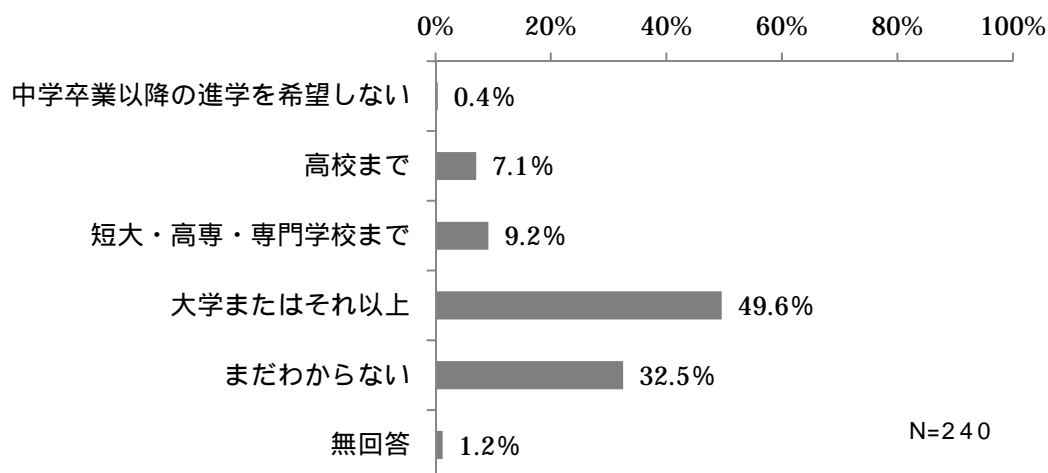


3 . 小学生調査の結果

将来について

(2 5) あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。

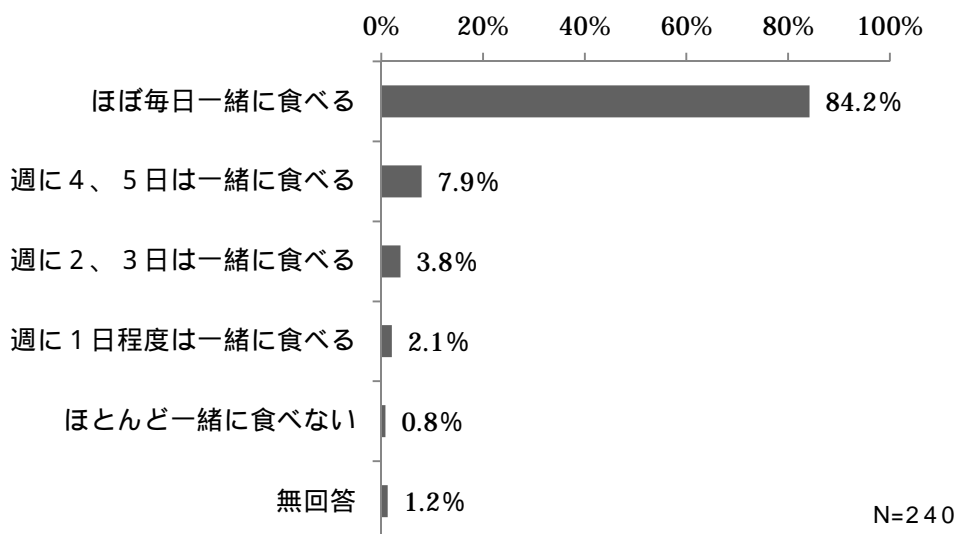
将来、どの段階まで進学したいかについては、「大学またはそれ以上」が 49.6%と約半数の割合を占めています。



普段の生活

(2 6) 毎日の食事で、1日1回は家族と食事をとっていますか。

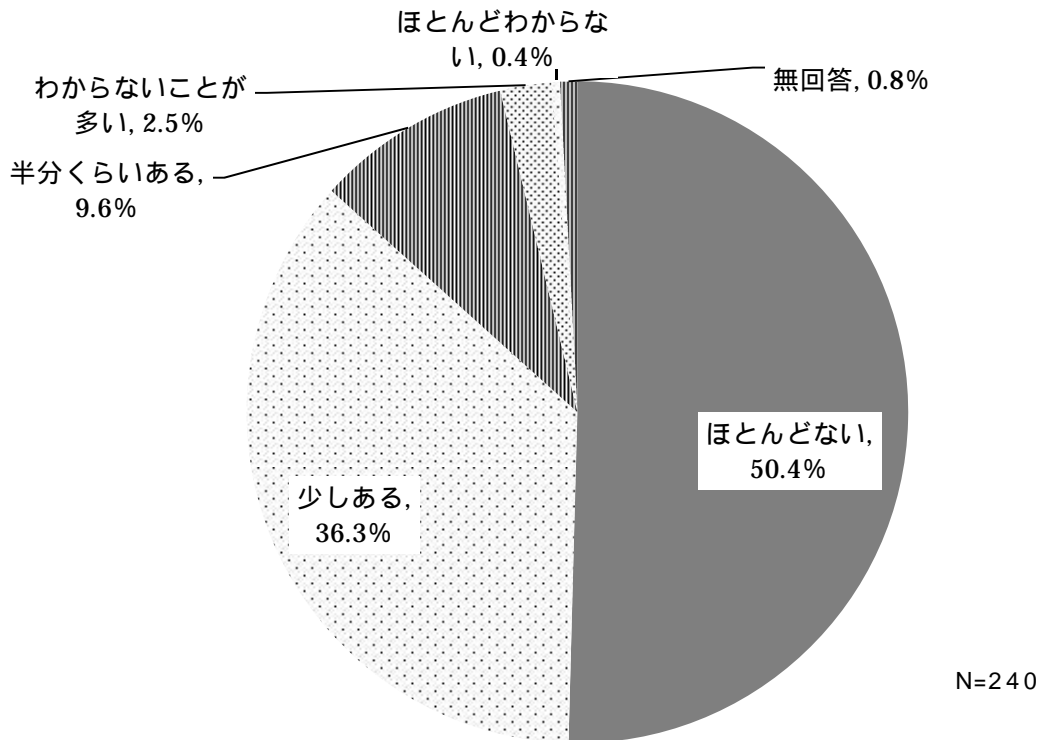
1日1回は家族と食事をとっているかについては、「ほぼ毎日一緒に食べる」が 84.2%、「週に4、5日は一緒に食べる」が 7.9%の順となっています。



学校・勉強のこと

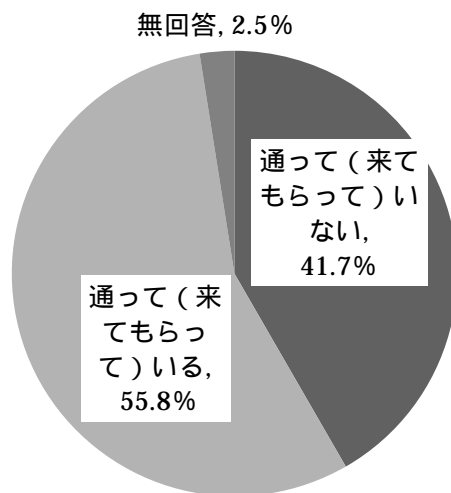
(27) あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

学校の授業がわからないかについては、「ほとんどない」が50.4%、次いで「少しある」が36.3%の順となっています。



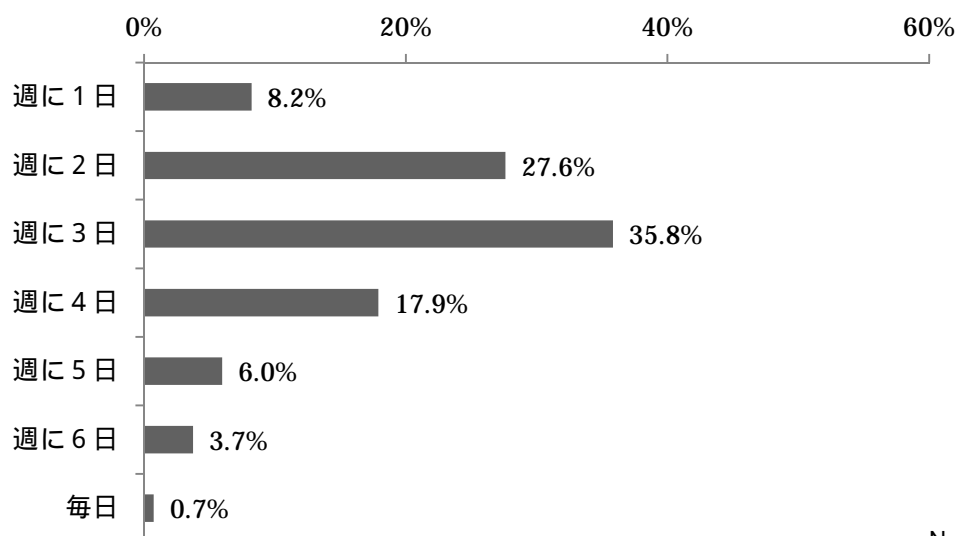
(28) あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。
通っている(来てもらっている)場合、1週間に何日通っていますか。

学習塾や家庭教師を利用している割合は55.8%となっています。また、利用している人のうち、「週に3日」が35.8%、次いで「週に2日」が27.6%となっています。



N=240

通って(来てもらって)いる内訳



N=134

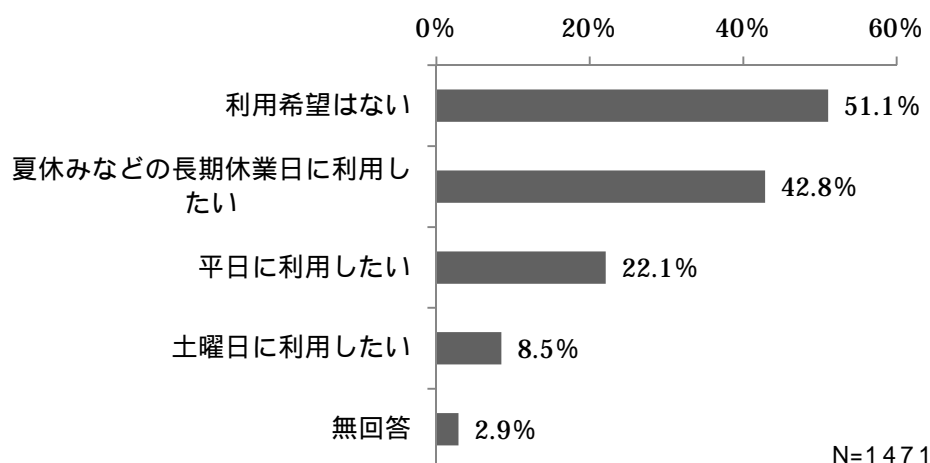
4 . 小学生保護者調査の結果

こどもクラブ・放課後子供教室・児童館ランドセル来館の利用希望

こどもクラブの利用希望

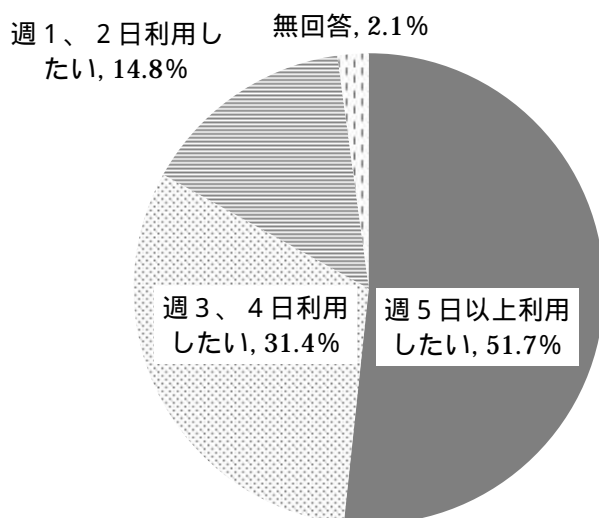
(29) 平日、土曜日または夏休みなどの長期休業日に、あて名のお子さんについて、こどもクラブ(学童保育)を利用したいですか。現在の入会の有無に関係なく回答してください。(複数回答)

こどもクラブ(学童保育)の利用希望は「利用希望はない」が51.1%と最も多く、次いで「夏休みなどの長期休業日に利用したい」が42.8%の順になっています。



(30) (29)で「平日に利用したい」と回答された方にうかがいます。希望する利用頻度はどのくらいですか。

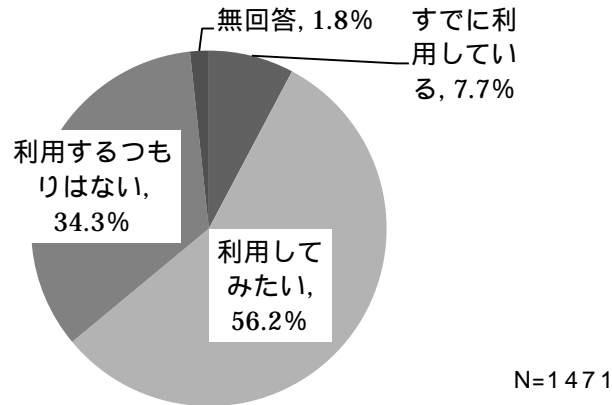
平日にこどもクラブ(学童保育)を利用したい人の希望する利用頻度は「週5日以上利用したい」が51.7%と最も多く、次いで「週3、4日利用したい」が31.4%となっています。



放課後子供教室の利用希望

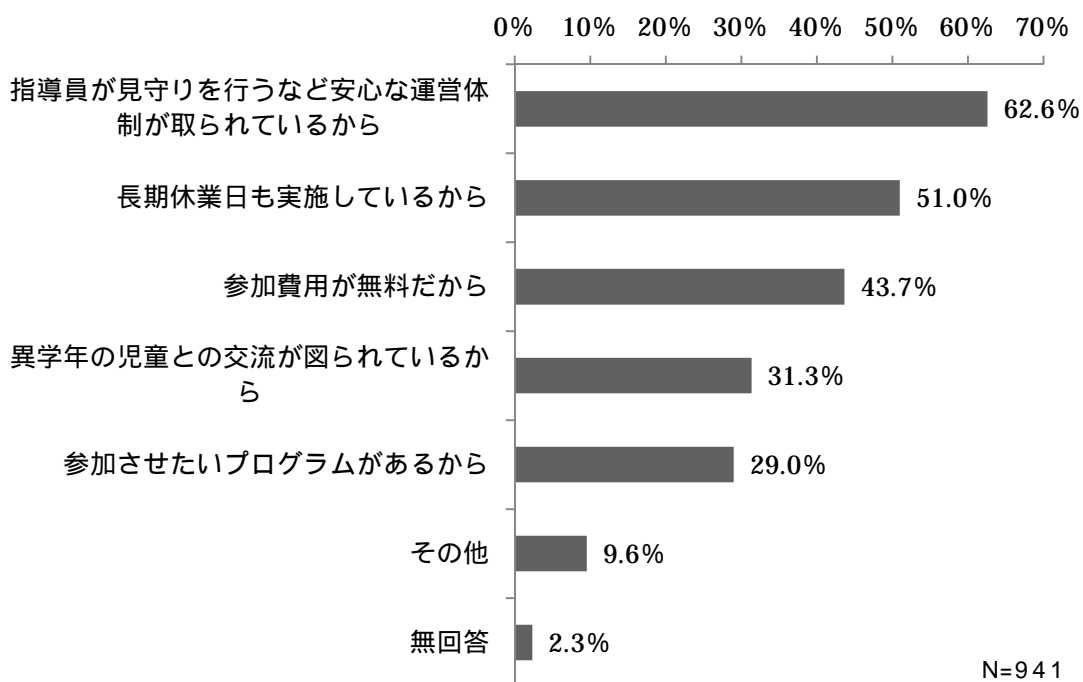
(31) あて名のお子さんの学校で放課後子供教室を実施した場合、放課後子供教室を利用してみたいと思いますか。

「すでに利用している」が7.7%、「利用してみたい」が56.2%となっており、合計63.9%となっています。



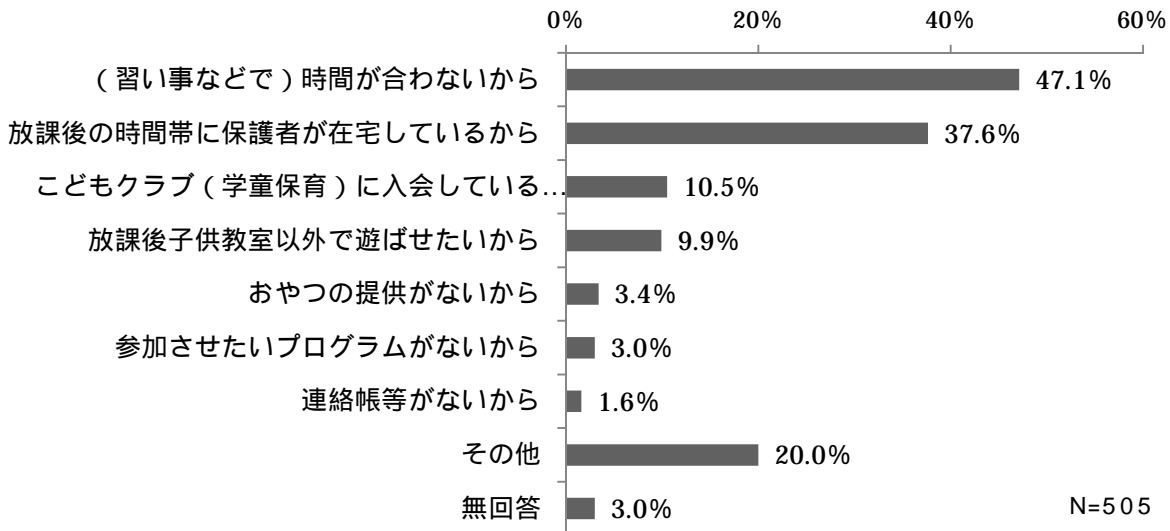
(32) 放課後子供教室をどのような理由で利用していますか(利用してみたいですか。)(複数回答)

子供の学校で、放課後子供教室を実施している(した)場合、「すでに利用している」、「利用してみたい」を選択した方のうち、「指導員が見守りを行うなど安心な運営体制が取られているから」を選択した方が62.6%と最も多い結果となっています。



**(3 3) 放課後子供教室を利用していない(利用するつもりはない)理由は何ですか。
(複数回答)**

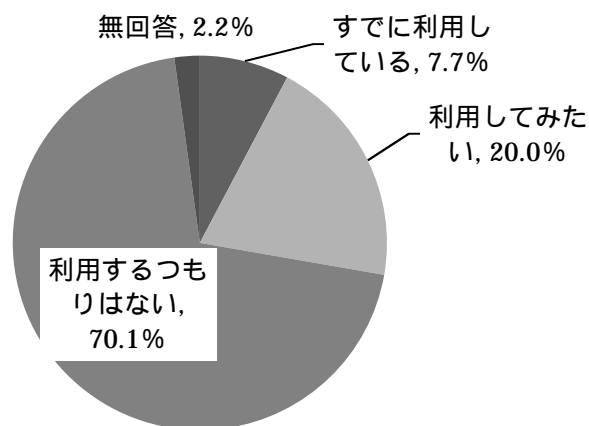
「(習い事などで)時間が合わないから」が47.1%と最も多くなっており、次いで「放課後の時間帯に保護者が在宅しているから」が37.6%となっています。



児童館ランドセル来館の利用希望

(3 4) 児童館で実施しているランドセル来館を利用してみたいと思いますか。

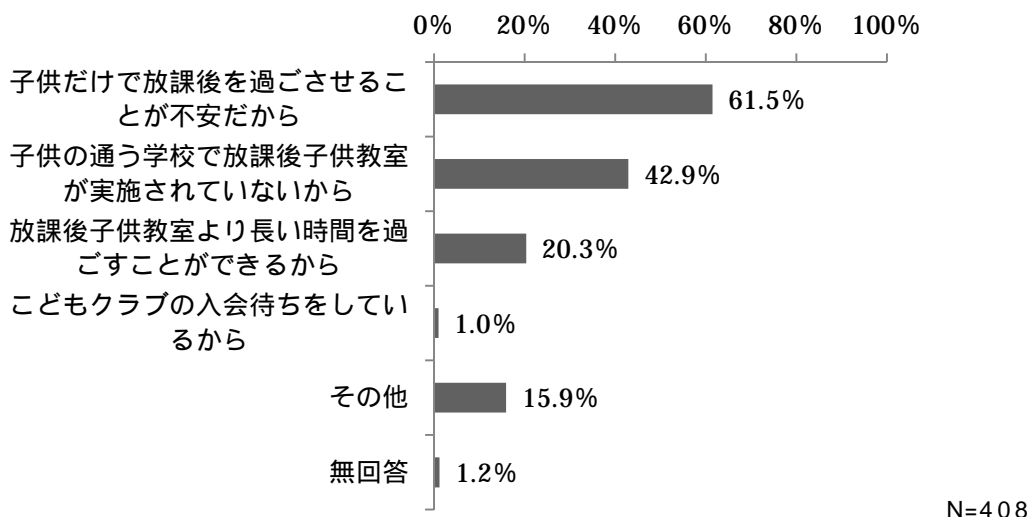
「すでに利用している」が7.7%、「利用してみたい」が20.0%となっており、合計27.7%となっています。



N = 1471

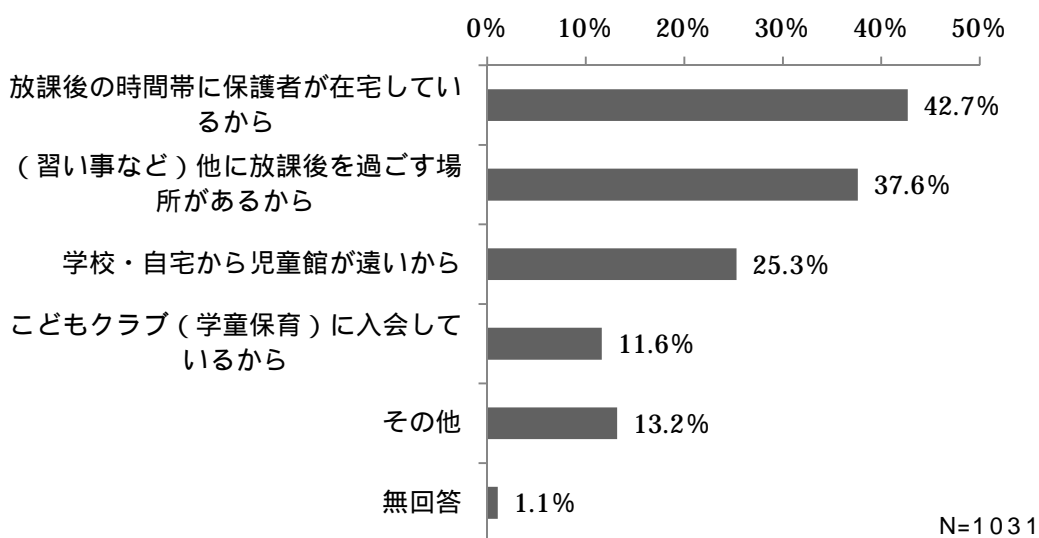
(35) (34)で「すでに利用している」または「利用してみたい」を選択した方にお伺いします。ランドセル来館をどのような理由で利用していますか(利用してみたいですか。)(複数回答)

(34)で「すでに利用している」、「利用してみたい」を選択した方のうち、「子供だけで放課後を過ごさせることが不安だから」を選択した方が61.5%と最も多い結果となっています。



(36) (34)で「利用するつもりはない」を選択した方にお伺いします。ランドセル来館を利用していない(利用するつもりはない)理由は何ですか。(複数回答)

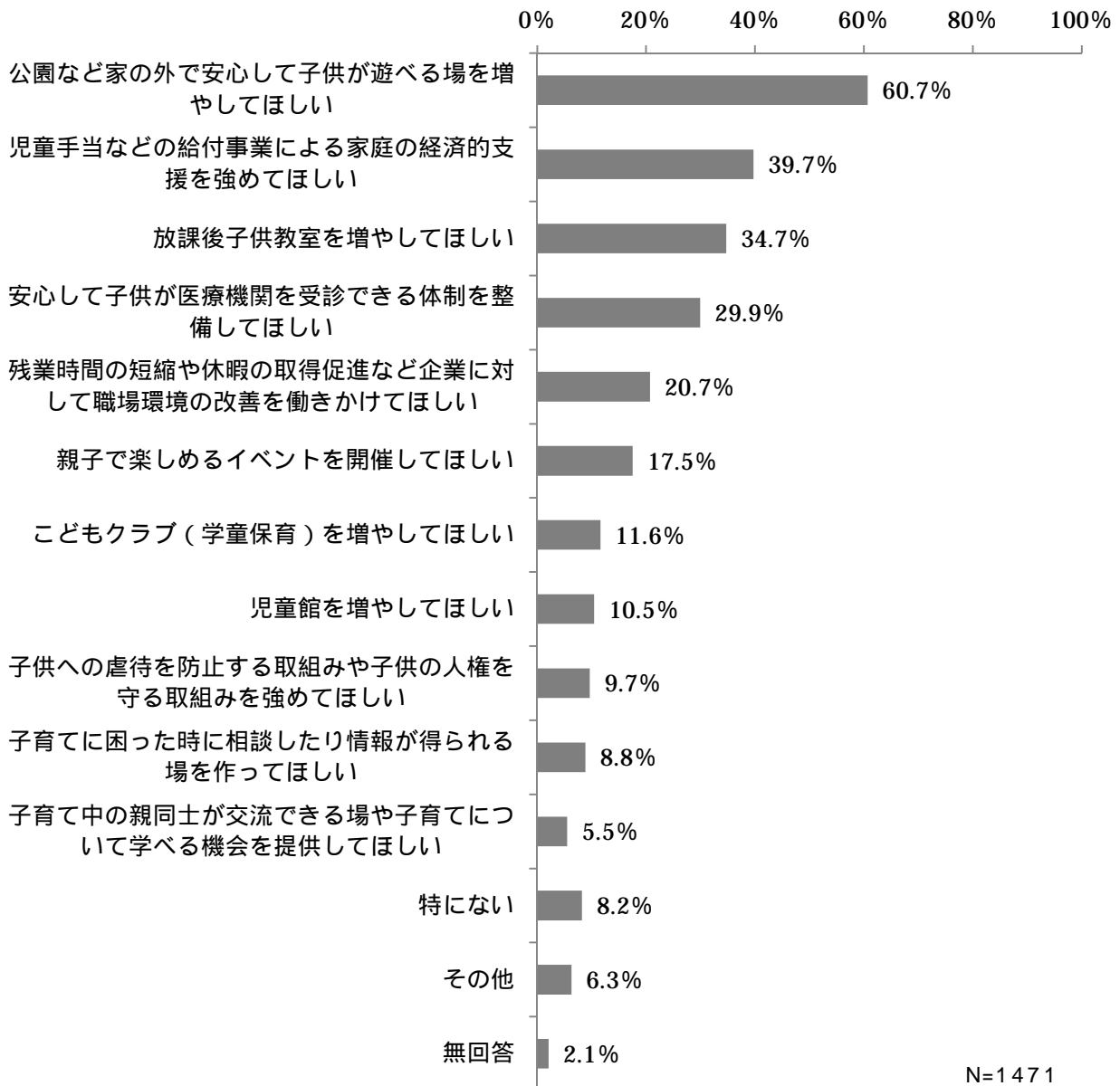
(34)で「利用するつもりはない」を選択した方のうち、「放課後の時間帯に保護者が在宅しているから」が42.7%と最も多く、次いで「(習い事など)他に放課後を過ごす場所があるから」が37.6%となっています。



区の子育て支援で特に力を入れてほしいもの

(37) 区の子育て支援として、次の項目の中から、あなたが特に力を入れてほしいものは何ですか。(複数回答)

区の子育て支援として特に力を入れてほしいものについては、「公園など家の外で安心して子供が遊べる場を増やしてほしい」が60.7%と最も多く、次いで「児童手当などの給付事業による家庭の経済的支援を強めてほしい」が39.7%の順になっています。



5 . 中学生・高校生相当年齢者調査の結果

授業のあとに行きたい場所

(3 8) 授業が終わった後 / 授業や仕事が終わった後、どういうところならば行きたいと思いますか。(複数回答)

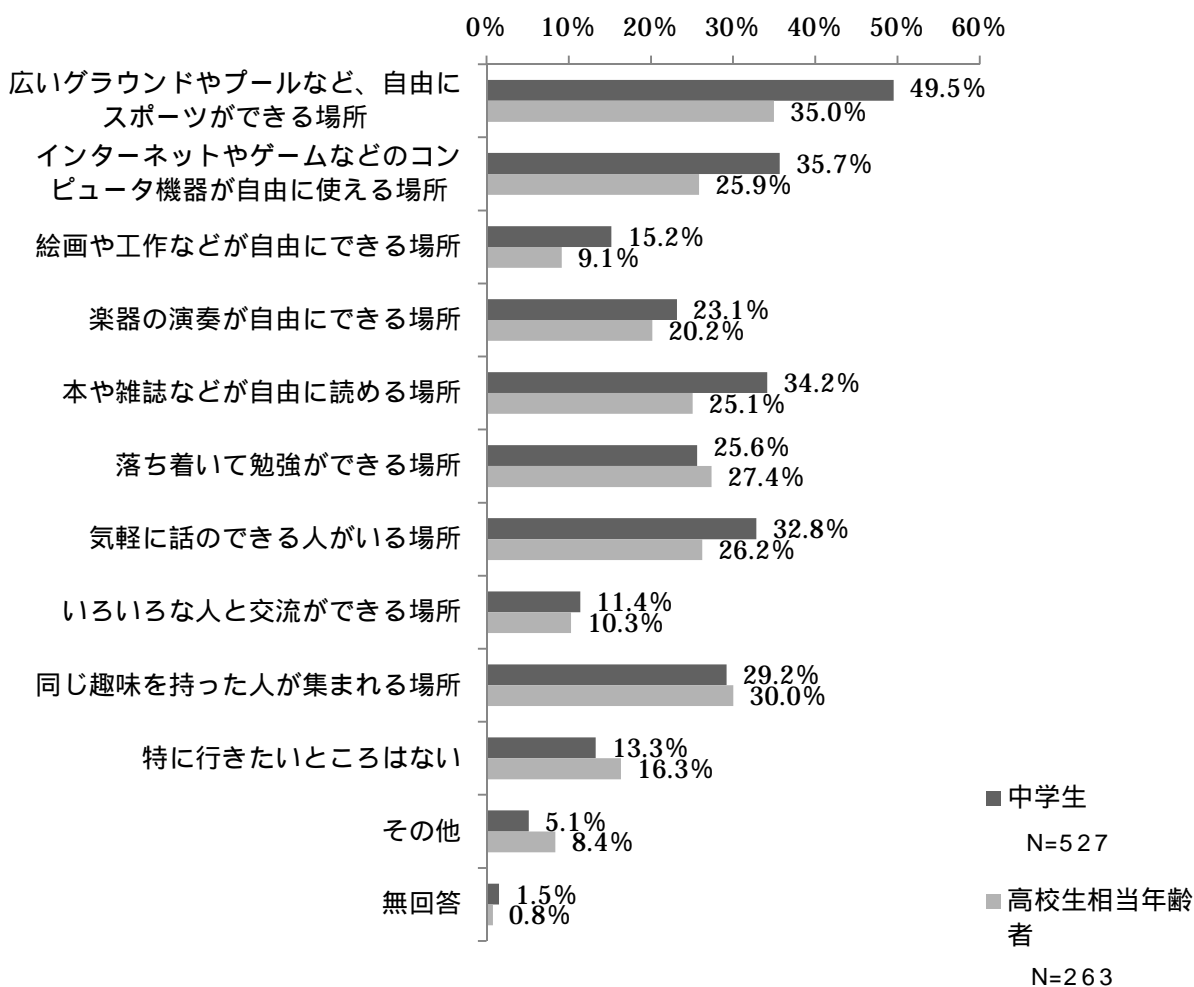
中学生

「広いグラウンドやプールなど、自由にスポーツができる場所」が 49.5%と最も多く、次いで「インターネットやゲームなどのコンピュータ機器が自由に使える場所」が 35.7%、「本や雑誌などが自由に読める場所」が 34.2%となっています。

高校生相当年齢者

「広いグラウンドやプールなど、自由にスポーツができる場所」が 35.0%と最も多く、次いで「同じ趣味を持った人が集まれる場所」が 30.0%、「落ち着いて勉強ができる場所」が 27.4%となっています。

中学生及び高校生相当年齢者ともに「広いグラウンドやプールなど、自由にスポーツができる場所」が一番高い割合での回答となっています。



携帯電話、インターネット等

携帯電話（スマートフォン含む）パソコンの所有状況

(39) 自分で使える携帯電話（スマートフォン含む）またはパソコンを持っていますか。

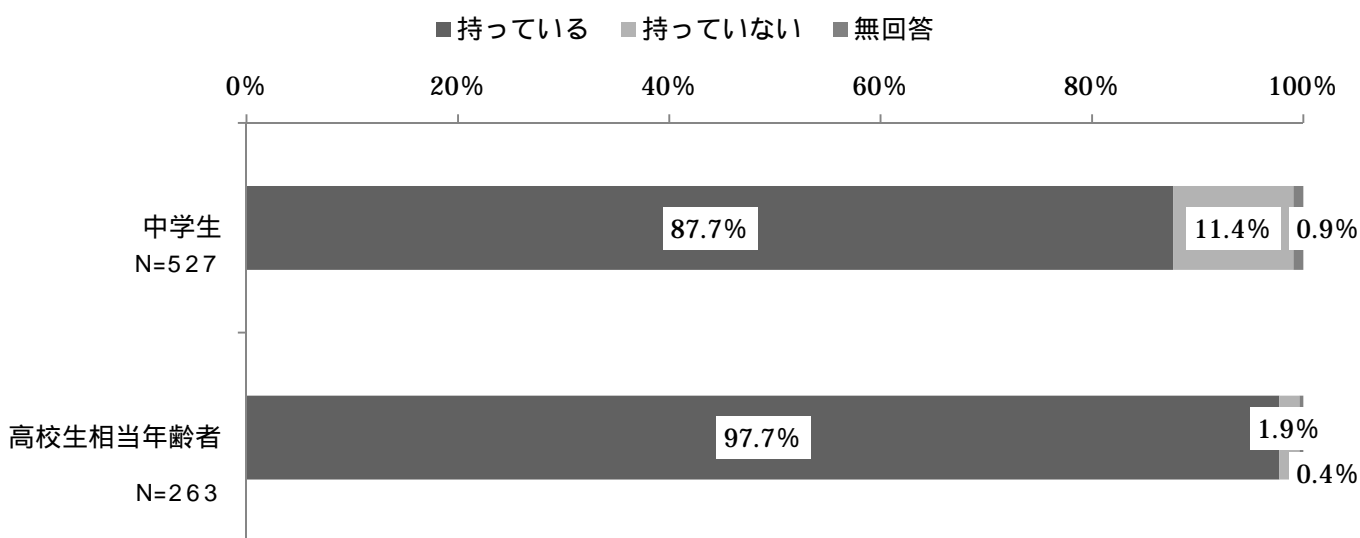
ア．携帯電話またはスマートフォン

中学生

「持っている」が87.7%、「持っていない」が11.4%となっています。

高校生相当年齢者

「持っている」が97.7%、「持っていない」が1.9%となっています。



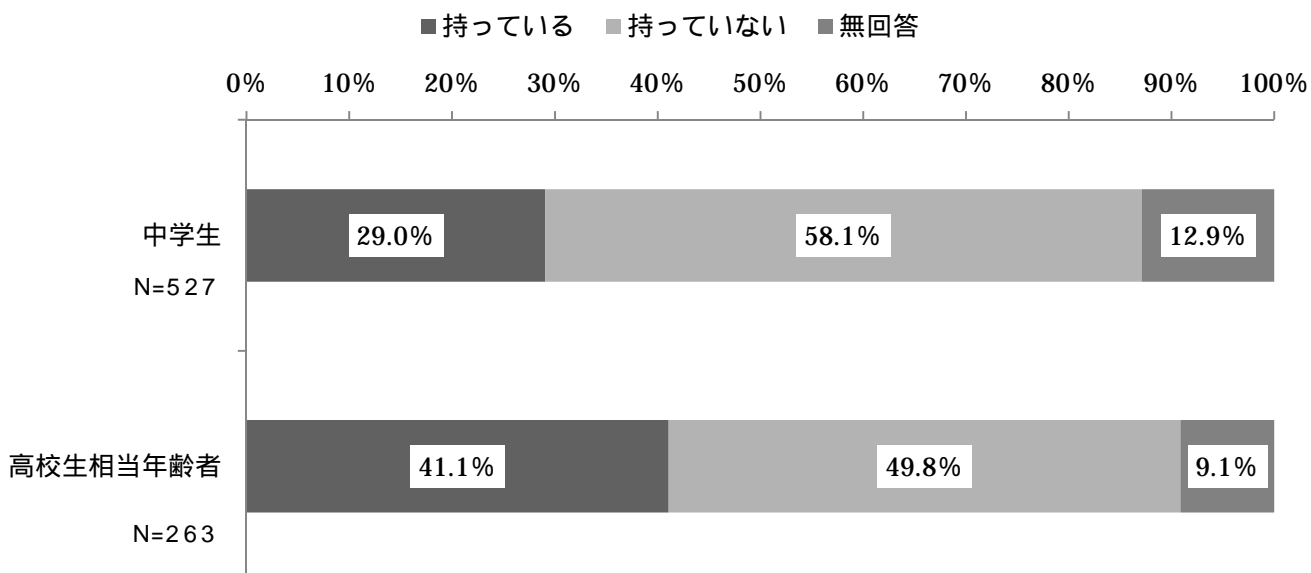
イ．パソコン

中学生

「持っている」が29.0%、「持っていない」が58.1%となっています。

高校生相当年齢者

「持っている」が41.1%、「持っていない」が49.8%となっています。



携帯電話やパソコンの使用頻度

(40) 使用頻度またはアクセス頻度はどのぐらいですか。

母数(N)は携帯電話あるいはパソコンのいずれかを所有している人

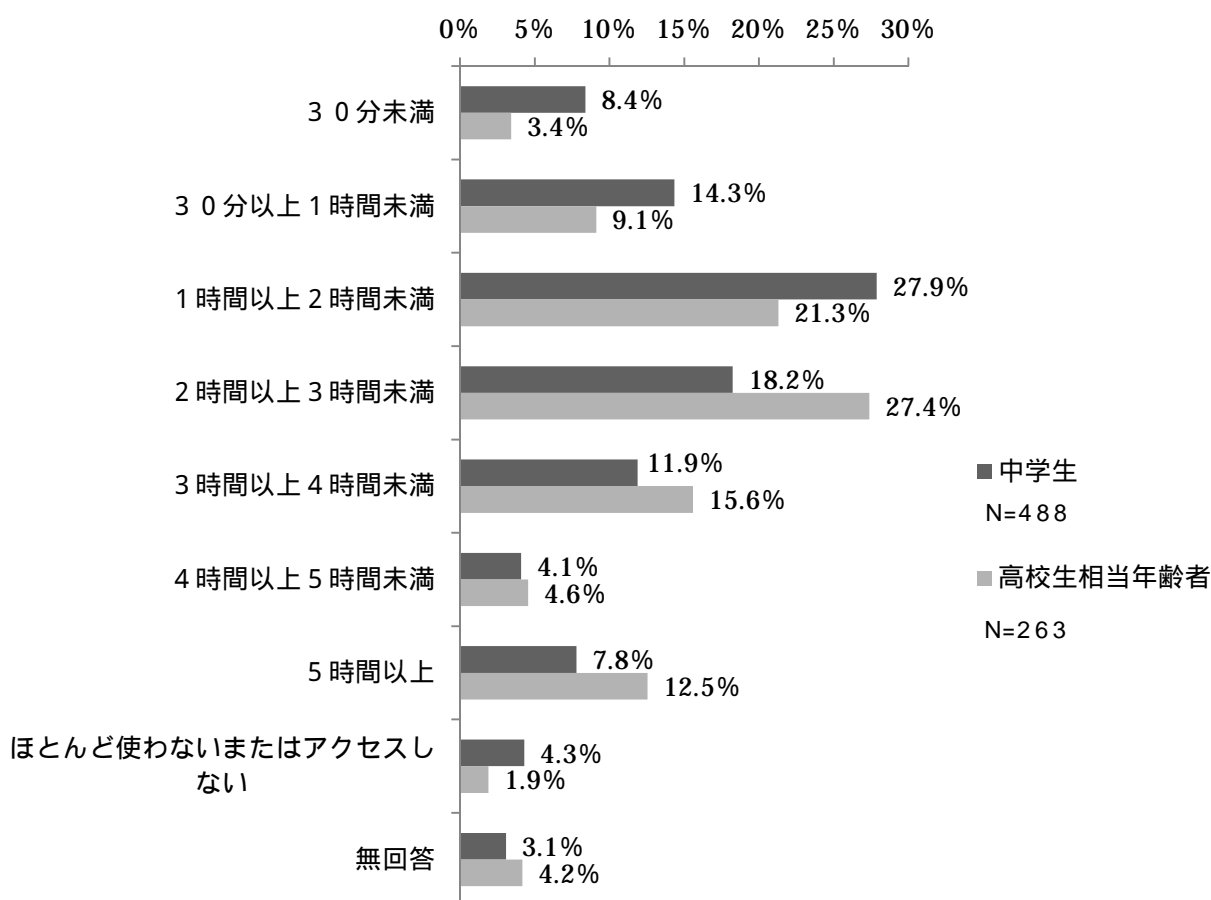
中学生

「1時間以上2時間未満」が27.9%と最も多くなっています。

高校生相当年齢者

「2時間以上3時間未満」が27.4%と最も多くなっています。

総じて、中学生よりも、高校生相当年齢者の方が、使用時間が長い傾向にあります。



有害サイトへの対策

(41) 携帯電話等やパソコンから有害サイト(「アダルトサイトや出会い系サイト」を指す、以下同じ)へ接続できないようにするフィルタリング機能を使っていますか。

母数(N)は携帯電話あるいはパソコンのいずれかを所有している人

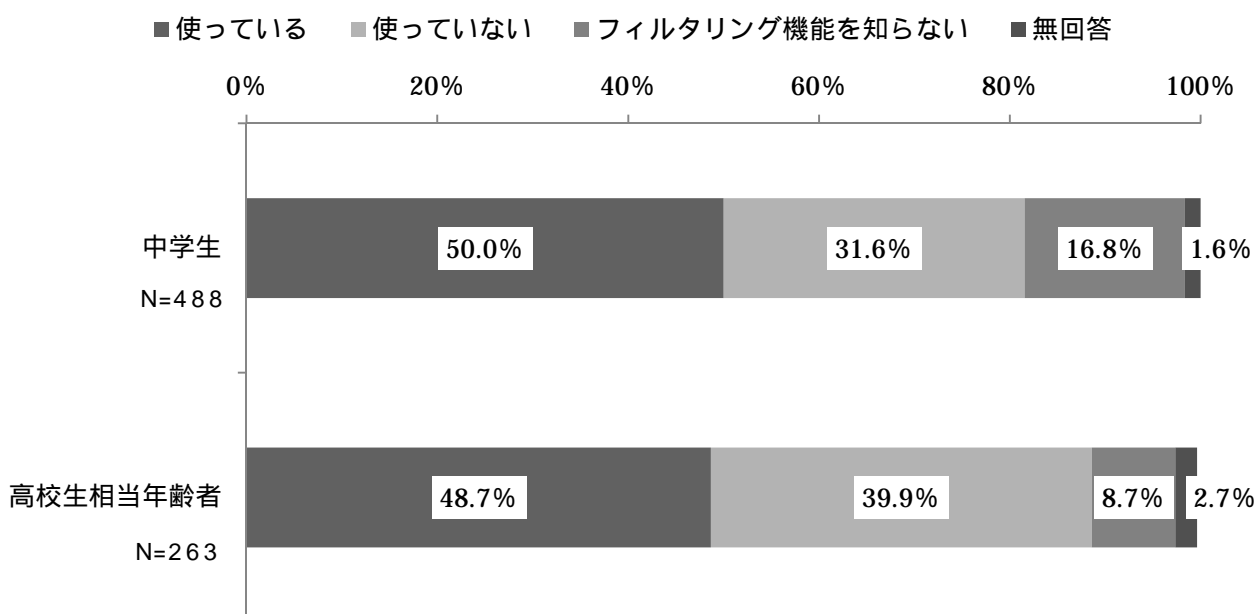
中学生

「使っている」が50.0%と最も多く、次いで「使っていない」が31.6%となっています。

高校生相当年齢者

「使っている」が48.7%と最も多く、次いで「使っていない」が39.9%となっています。

中学生よりも、高校生相当年齢者の方が「使っていない」と回答した人の割合が8.3ポイント高くなっています。

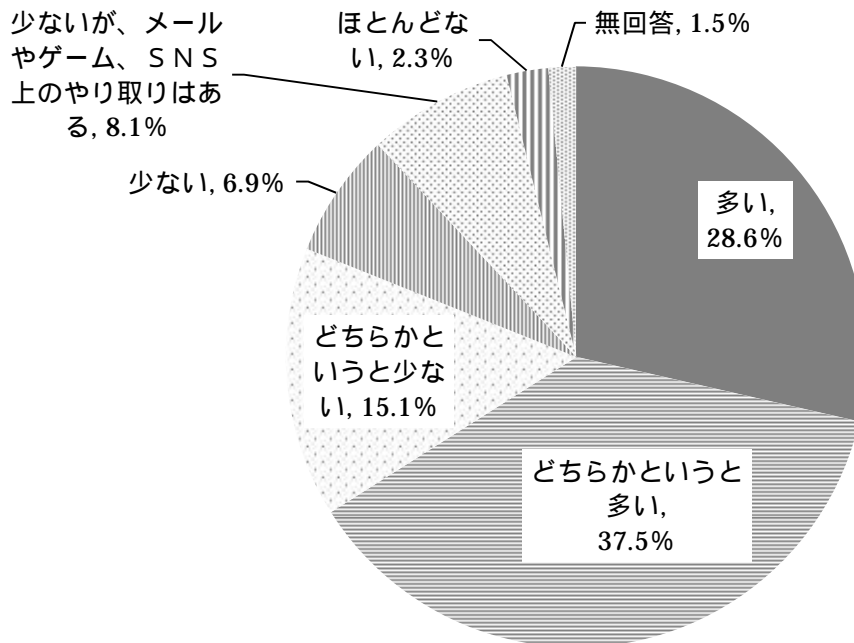


6. 若者（18歳～39歳）調査の結果

若者の悩み相談について

(42) あなたの普段のコミュニケーション（家族を含め、直接の会話や電話でのやりとり）についていちばん近いものはどれですか。 仕事上でのやり取りは含めない

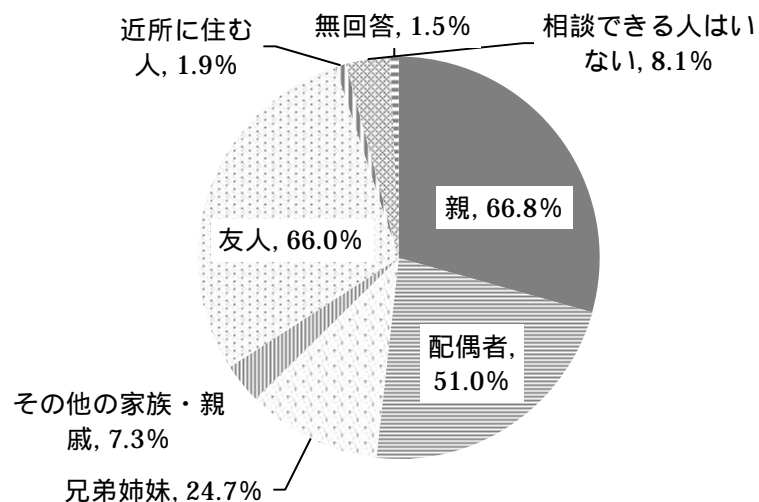
「どちらかというも多い」が37.5%と最も多く、次いで「多い」が28.6%となっており、合わせて66.1%となっております。



N=259

(43) あなたは、日常生活や仕事などの悩みや不安がある場合、それを相談できる人はいますか。（複数回答）

「親」が66.8%と最も多く、次いで「友人」が66.0%。また、「配偶者」が51.0%となっております。

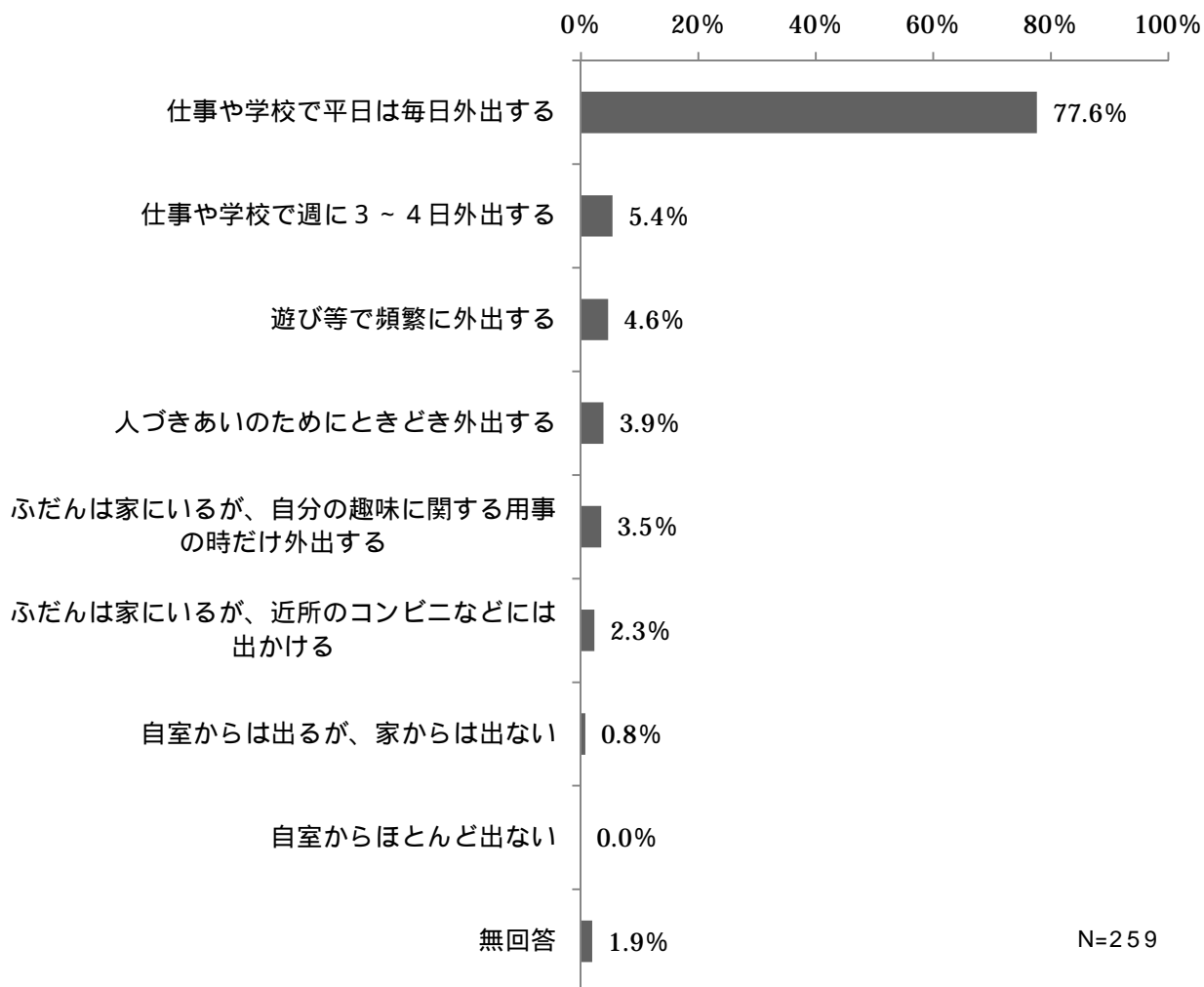


N=259

ひきこもりについて

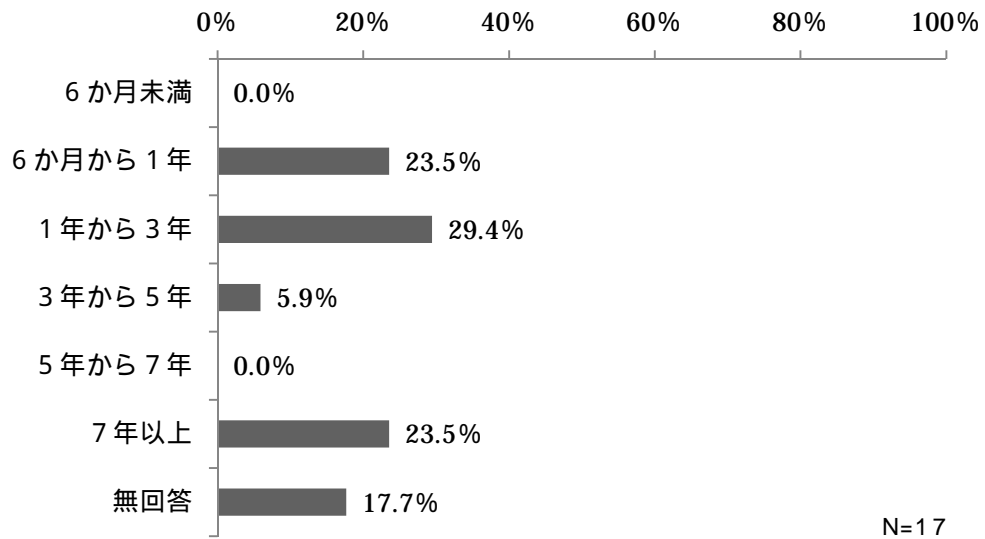
(44) あなたは、普段どのくらい外出しますか。

「仕事や学校で平日は毎日外出する」が77.6%と最も多くなっております。一方で、「自室からは出るが、家からは出ない」が0.8%、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」は2.3%となっております。



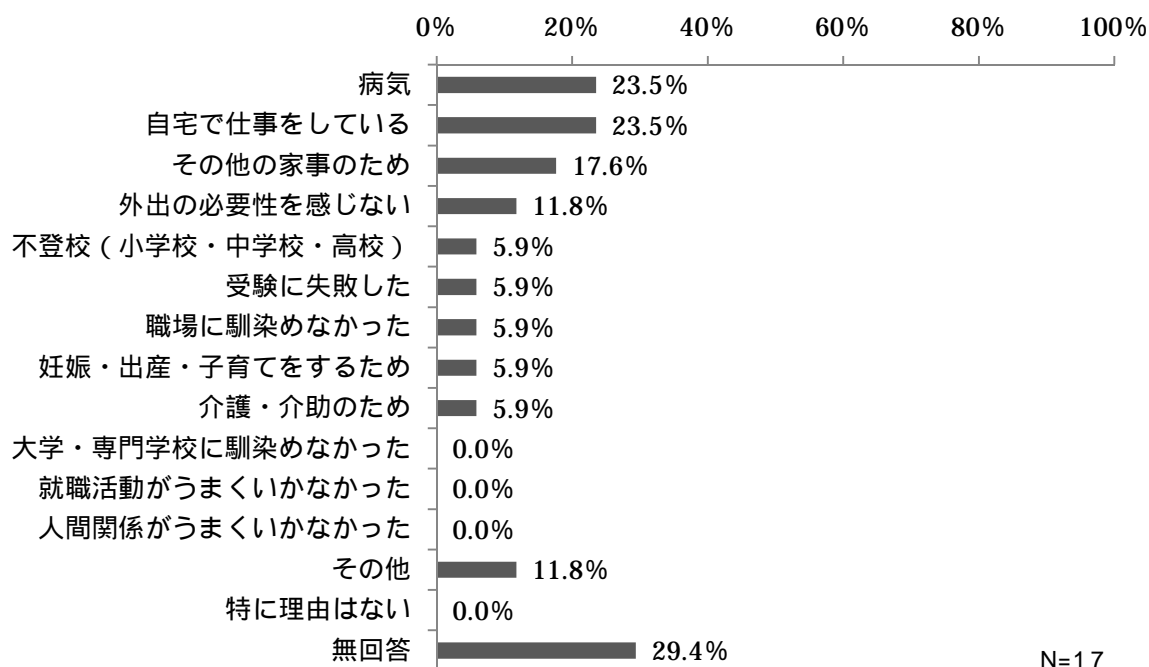
(45) あなたが、あまり外出しなくなってから、またはほとんど外出しなくなってから、どのくらい経ちますか。

「1年から3年」が29.4%で最も多く、次いで「6か月から1年」及び「7年以上」が23.5%となっています。



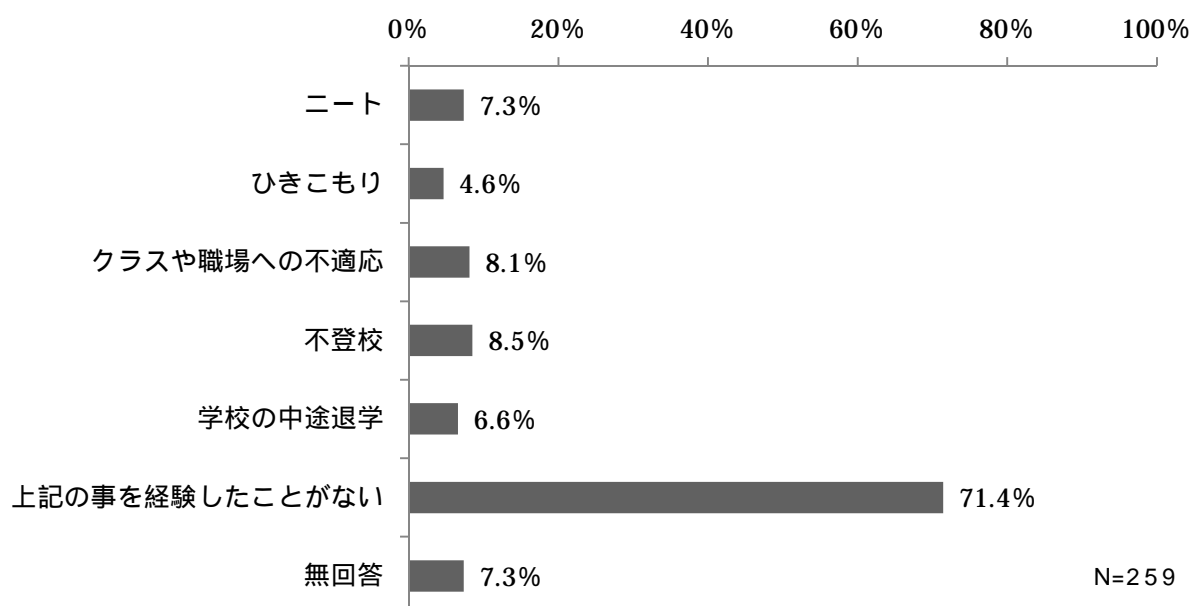
(46) あなたが、あまり外出しなくなった、またはほとんど外出しなくなったきっかけや理由はなんですか。(複数回答)

「病気」及び「自宅で仕事をしている」が23.5%で最も多く、次いで「その他の家事のため」が17.6%となっています。



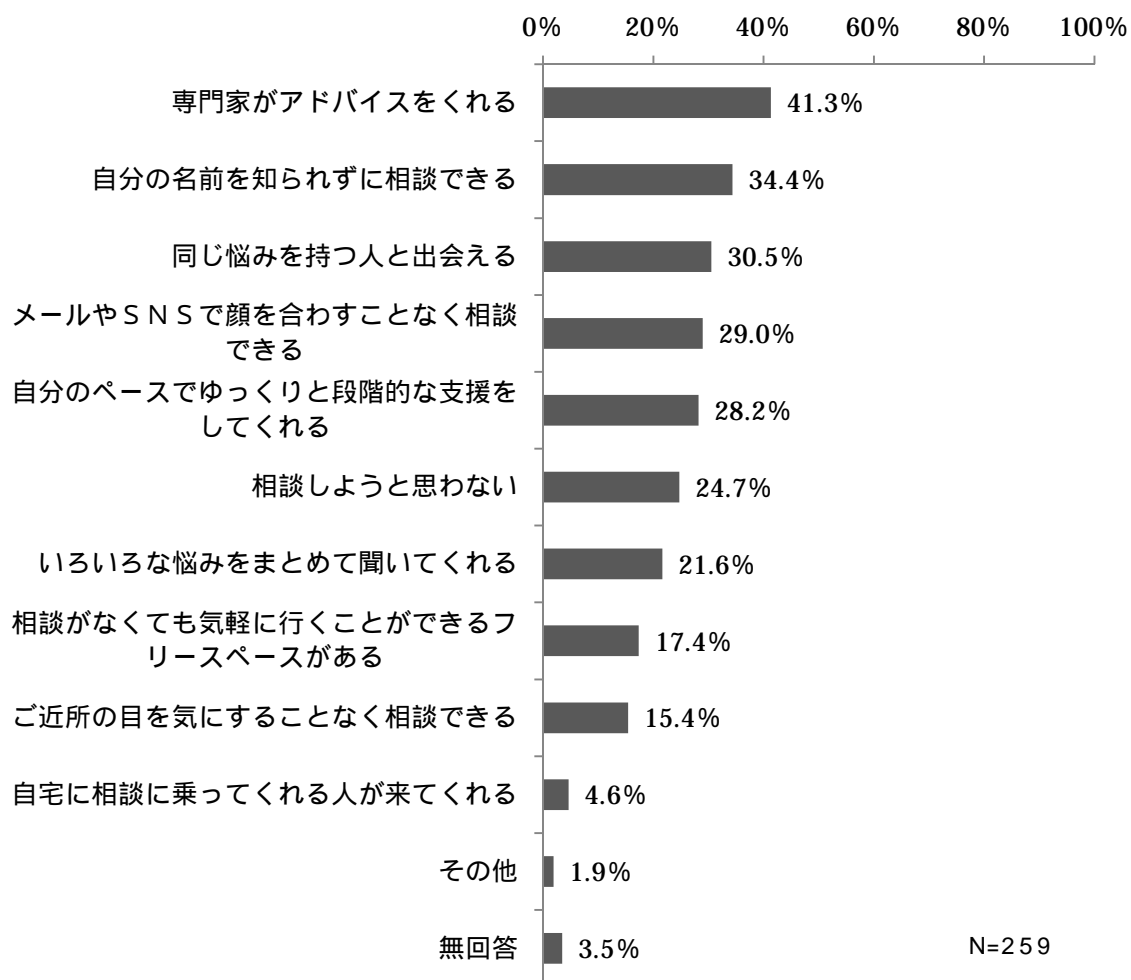
(47) あなたはこれまでに、次のようなことを経験したことはありますか。(複数回答)

「上記の事を経験したことがない」を除くと、「不登校」が8.5%で最も多く、次いで「クラスや職場への不適應」が8.1%となっています。



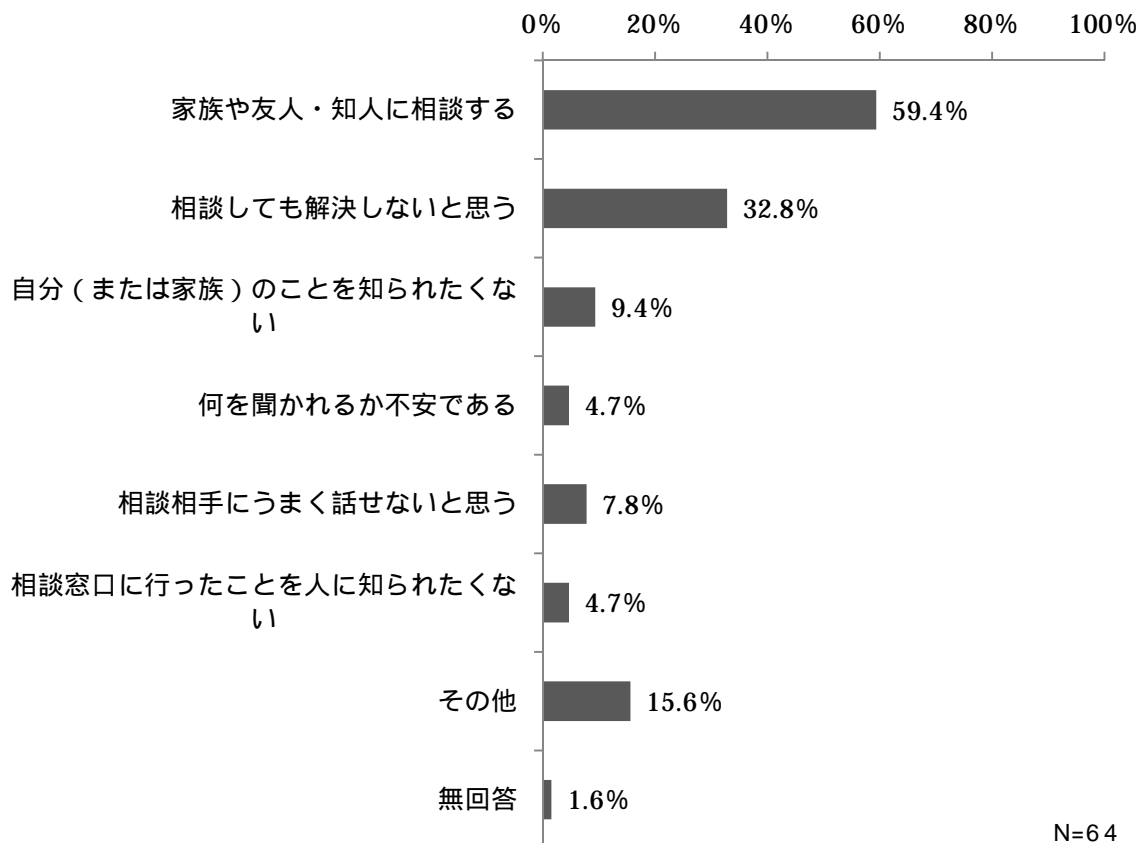
(48) あなたは、どのようなところであれば、現在の悩みや不安について相談しようと思いますか。(複数回答)

「専門家がアドバイスをくれる」が41.3%で最も多く、次いで「自分の名前を知られずに相談できる」が34.4%となっています。



(49) あなた((48)で相談しようと思わないを選択した方)が、悩みや不安を相談しようと思わない理由は何ですか。(複数回答)

「家族や友人・知人に相談する」が59.4%で最も多く、次いで「相談しても解決しないと思う」が32.8%となっています。



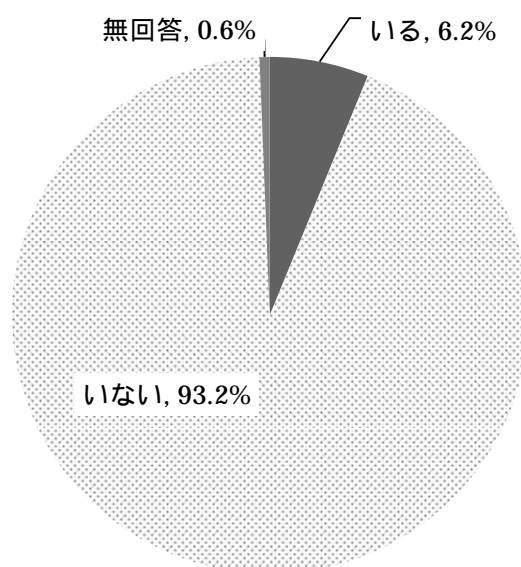
7. 子供の貧困に関連する調査の結果

就学前児童保護者票、小学生保護者票、中学生保護者票、高校生相当年齢者保護者票を合算し、集計

家庭での介護の状況

(50) 同居しているご家族の中に、高齢であったり、障害があったりするなど、介護が必要な方はいますか。

同居家族の中に、介護が必要な方がいる割合は6.2%となっています。

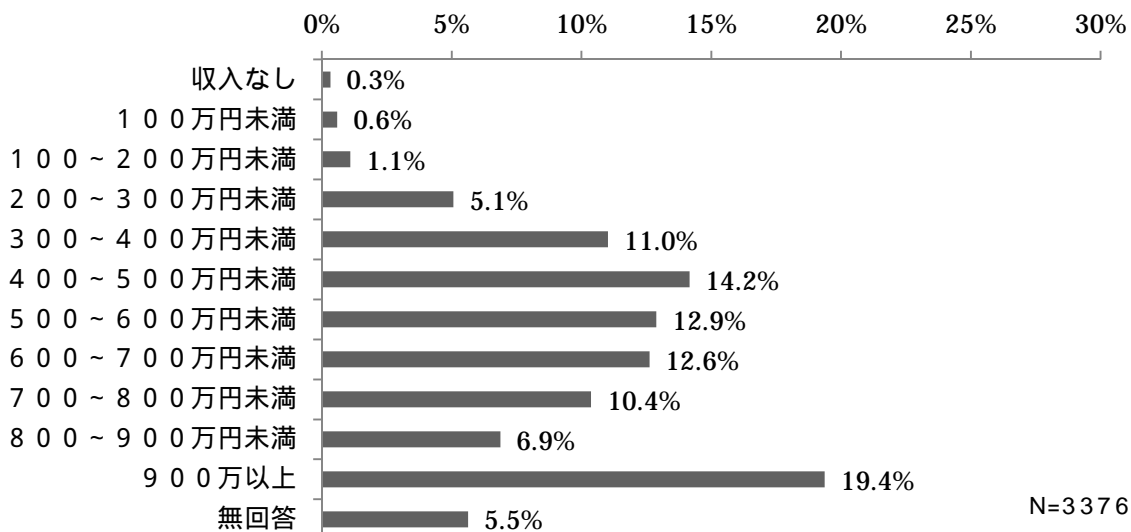


N=3772

世帯の収入状況

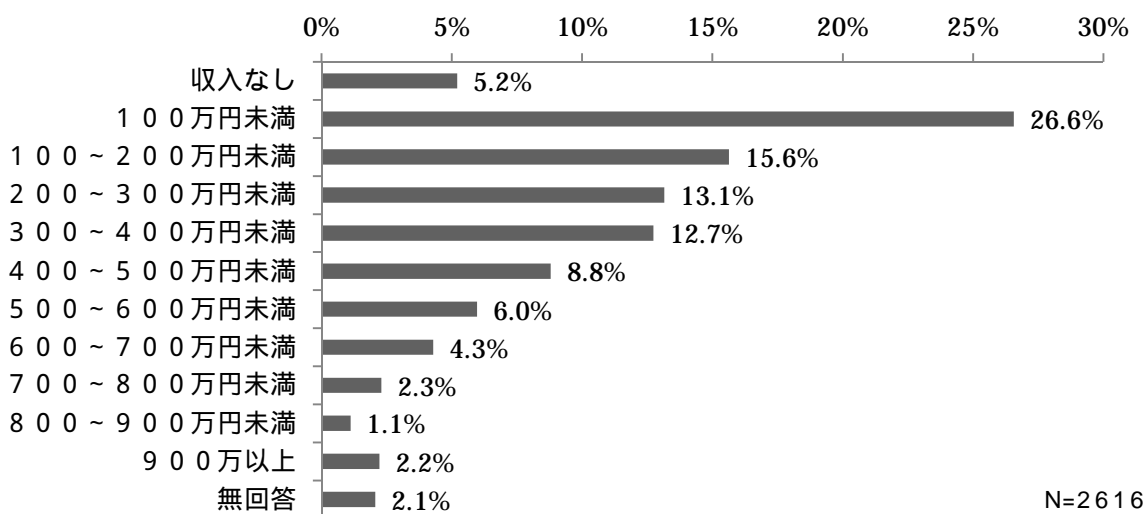
(51) 父親の昨年1年間(2017年1月~12月)の収入の合計(税込)
はおよそいくらですか。

「900万以上」が19.4%で最も多く、次いで「400~500万円未満」が14.2%となっています。



(52) 母親の昨年1年間(2017年1月~12月)の収入の合計(税込)
はおよそいくらですか。

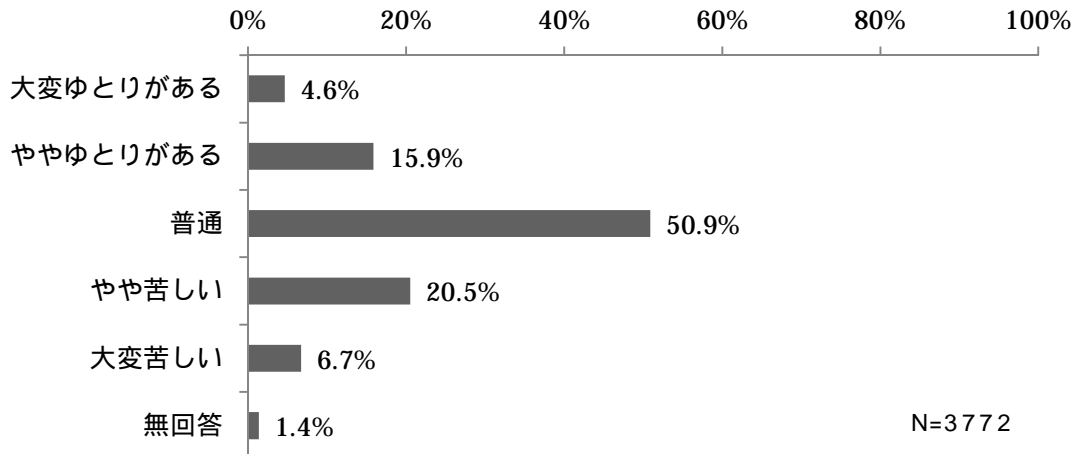
「100万円未満」が26.6%で最も多く、次いで「100~200万円未満」が15.6%となっています。



家庭の生活状況

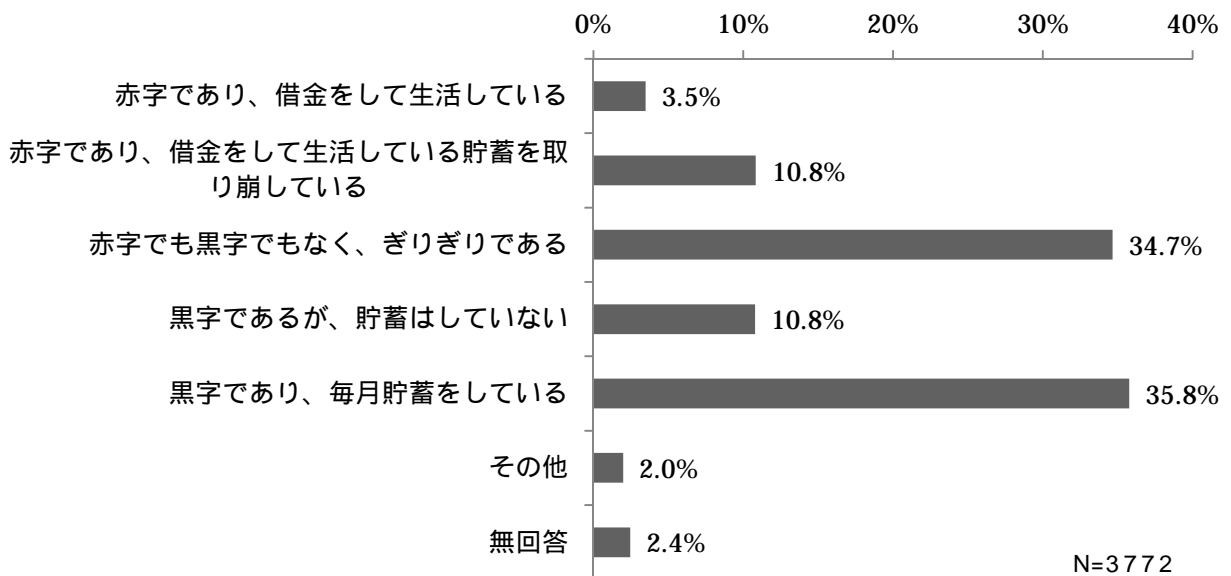
(53) 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

「普通」が50.9%と最も多く、次いで「やや苦しい」が20.5%となっています。



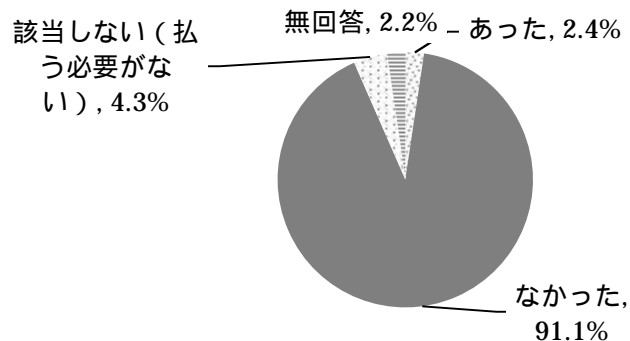
(54) ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。

「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が35.8%と最も多く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が34.7%となっています。



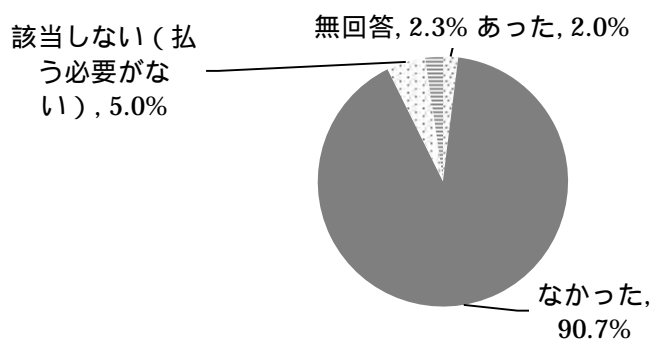
(5 5) あなたのご家庭では、過去 1 年間に、経済的な理由で、支払えないことはありませんでしたか。

(1) 電気料金



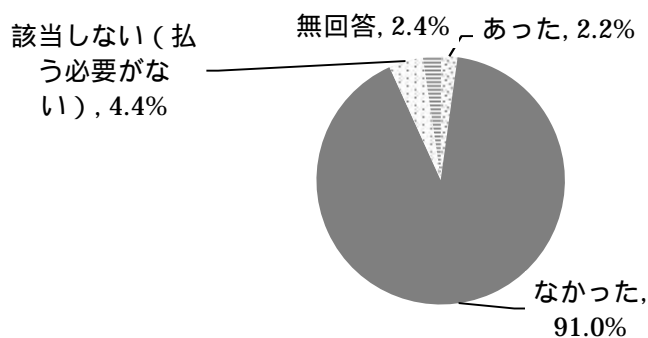
N=3772

(2) ガス料金



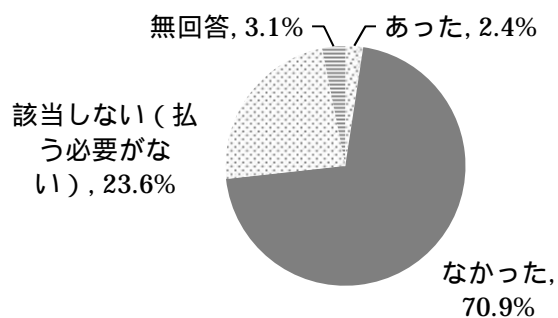
N=3772

(3) 水道料金



(4) 家賃

N=3772



N=3772